

2019年度  
日本魚類学会年会

講演プログラム

Advance Abstracts  
for  
the 52nd Annual Meeting, 2019

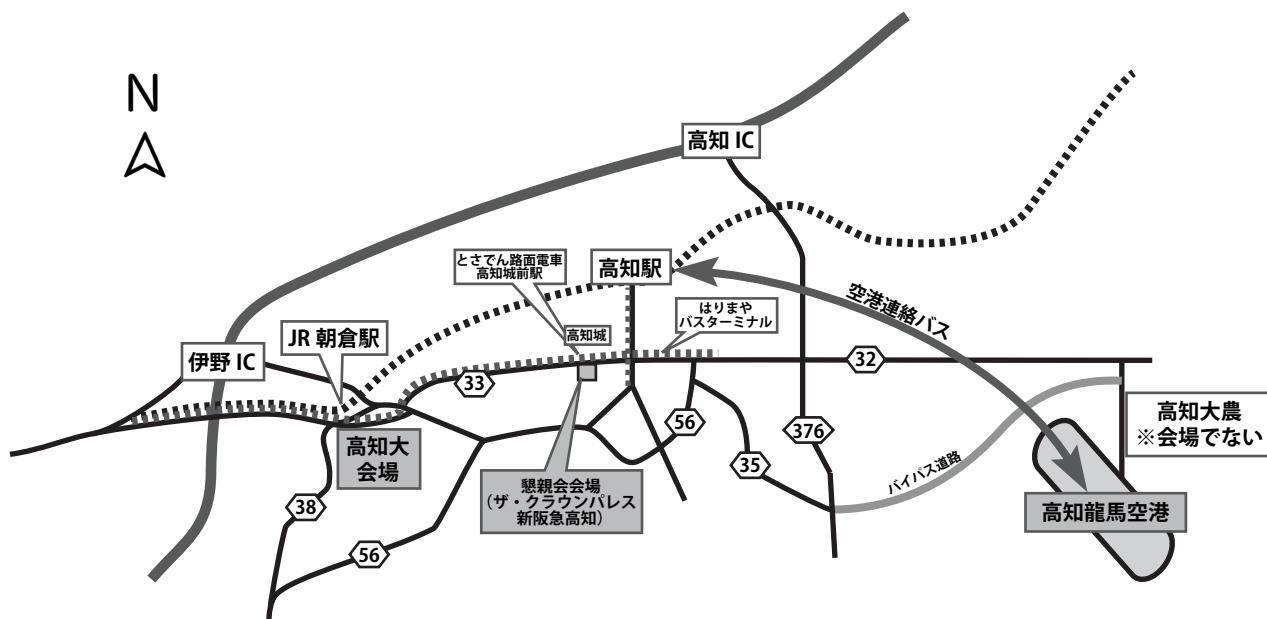


会期：2019年9月20日(金)～23日(月)  
場所：高知大学 朝倉キャンパス



一般社団法人 日本魚類学会  
The Ichthyological Society of Japan

# 2019 年度日本魚類学会年会会場・懇親会会場へのアクセス



## 高知大学朝倉キャンパスへのアクセス

### ★高知龍馬空港から高知市中心街へ

空港連絡バスで約 30 分 (料金 720 円)

「はりまや橋観光バスターミナル」, 「北はりまや橋」～「JR 高知駅」間で下車

### ★高知市内から高知大学朝倉キャンパスへのアクセス

とさでん (路面電車) : はりまや橋電停から約 25 分, 朝倉高知大学前で下車 (300 円)

\*「いの」か「朝倉高知大学前」行へ乗車, 「鏡川橋」行は乗り換え必要

「鏡川橋」電停から大学まで徒歩 15 分

JR : 高知駅から朝倉駅まで普通電車 16 分 (220 円), 朝倉駅から徒歩 3 分

はりまや橋付近 (堺町) からバスで約 20 分, 朝倉高知大学前で下車 (380 円)

タクシーで約 20 分 (約 2,000 円)

### ★高速道路から

高知インターチェンジから車で約 30 分

伊野インターチェンジから車で約 5～10 分

\*高知大学構内では駐車料金がかかります (2 時間～1 日, 500 円)

入口ゲートで駐車券を取り, 出口ゲートで精算

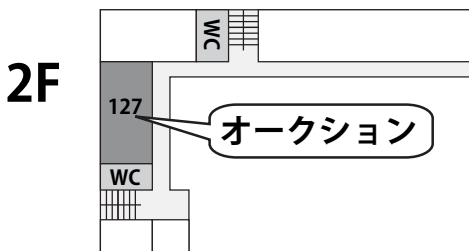
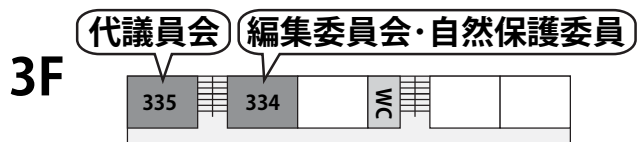
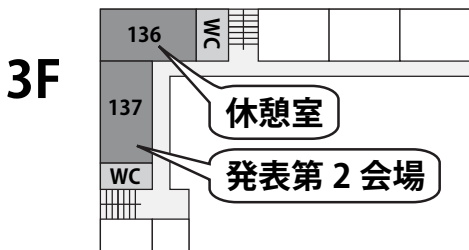
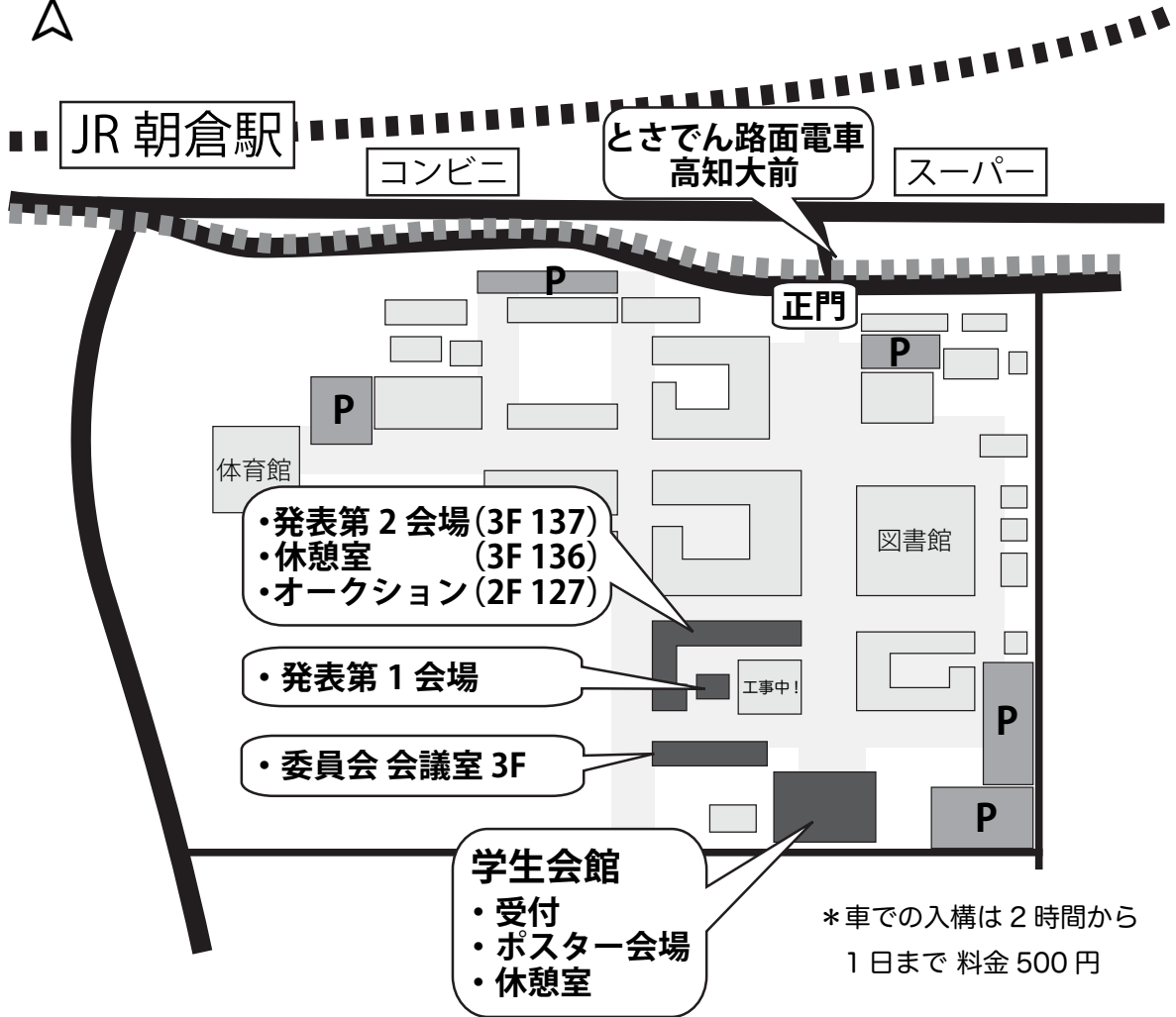
### ★ザ・クラウンパレス新阪急高知 (懇親会会場)

東西の電車通, とさでん (路面電車) 高知城前電停の南側

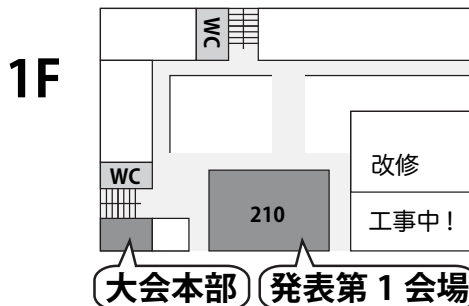
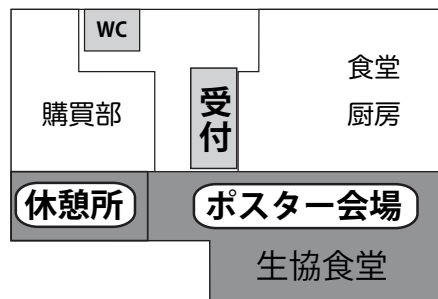
\*9 月 22 日 (日) は 17 時～18 時に朝倉キャンパスの会場からバスが出ます



# 高知大学朝倉キャンパス



## 学生会館 1F



\*9月20日(金)は大学生協の食堂と購買部が営業しています。ポスター会場は食堂の営業後21時以降に設営しますので、ポスター貼り付けは9月21日(土)8時から可能です。

# 2019 年度日本魚類学会年会タイムスケジュール

9月20日(金)

14:30～18:00 サテライトシンポジウム  
「日本魚類学会若手の会キックオフシンポジウム  
～学会の持続的な発展を目指して～」

12:00～14:00  
編集委員会(共通教育棟3号館 334室)

15:00～17:00  
代議員総会(共通教育棟3号館 335室)

	14:00～	14:30～15:35		15:45～17:05		17:15～18:00
シンポジウム 第2会場(137)	受付	開催挨拶 I. 他学会の現状 1～3	休憩	II. 研究に関わり ながら生きていく 4～7	休憩	III. パネルディス カッション 8 開会挨拶

9月21日(土)

11:25～12:10 自然保護委員会(共通教育棟3号館 334室)

★ 優秀発表賞  
対象者発表

	8:00～	9:15～10:15		10:25～11:25	11:25～	12:10～14:10	14:15～15:15	15:20～16:20		16:30～17:30
口頭発表 第1会場(210)	受付 学生会館 (～17:45)	生態 1～4 ★	休憩	分子遺伝 5～8 ★	昼食	総会・受賞式 受賞者講演会	/	生態 9～12 ★	休憩	生態 13～16
口頭発表 第2会場(137)		分類 39～42 ★		分類 43～46 ★		分類・系統・形態 47～50 ★		分類・系統・形態 51～54 ★		
ポスター発表 学生会館食堂		ポスター展示 77～215 ★		コアタイム 奇数番号		ポスター展示 77～215 ★				
オークション(127)	入札受付(8:30～17:30)									

9月22日(日)

	8:00～	9:00～10:30		10:40～12:10	12:15～	12:30～	13:15～14:15	14:20～15:35		15:45～17:00
口頭発表 第1会場(210)	受付 学生会館 (～15:00)	生態 17～22 ★	休憩	生態・分子遺伝 23～28 ★	集合 写真	昼食	/	生態・分子遺伝 29～33	休憩	分子遺伝 34～38
口頭発表 第2会場(137)		保全・資源 55～60 ★		分布・魚類相 卵・仔稚魚 61～66 ★				分類・系統・形態 分布・魚類相 67～71		分布・魚類相 保全・資源 72～76
ポスター発表 学生会館食堂		ポスター展示 77～215 + 中高生 1～10 ★		コアタイム 偶数+中高生 ポスター撤収(～15:45)				＊中高生表彰式		
オークション (127)	入札受付 (8:00～10:00)	開札 (10:00～12:30)		落札者受取 (～15:45 終了)						

18:30～21:00
懇親会 ザ・クラウン パレス新阪急 高知(3F 蘭の間)
＊バスで移動 17:00～18:00 発

9月23日(月) 公開シンポジウム

9:00～17:00 「古代湖における魚類の適応進化と種多様性創出」

	8:30～	9:00～9:40	9:40～11:15	11:15～12:45		13:45～15:45		16:00～17:00
シンポジウム 第1会場(210)	受付(会場)	I. 基調講演 1	II. アフリカ古代湖 2～4	III. バイカル湖 5～7	昼食	IV. 琵琶湖 8～12	休憩	V. 総合討論

9:00～13:00 「スウェーデンのVega号が採集した140年前の日本産魚類群の意義—分類学的研究に基づく標本の役割を再考：過去の生物多様性復元，今日の環境保全，未来世代へ記録と保存」

14:00～18:00 「野生メダカを守る～基礎研究から保全の提言まで～」

	8:30～	9:00～10:45		11:00～12:15	12:15～13:00	13:30～	14:00～15:40		15:50～17:20	～18:00
シンポジウム 第2会場(137)	受付(会場)	I. Vega号 1～4	休憩	I. Vega号 5～7	II. Vega号 総合討論	受付(会場)	I. 野生メダカの基礎研究 1～3	休憩	II. 野生メダカを守る 4～6	総合討論

# 研究発表プログラム

## 口頭発表

発表 12 分と質疑応答 3 分の計 15 分。☆は優秀発表賞応募発表を、○は演者を示す。

### 第 1 会場 (210)

9 月 21 日 (土)

9:15~10:15

(生態)

- 1☆ 9:15 三重県安濃川におけるニシシマドジョウの成熟様式  
Maturation pattern of *Cobitis* sp. BIWAE type B in the Ano River, Mie Prefecture  
○古澤 千春・淀 太我・吉岡 基 (三重大院生資)  
○Chiharu FURUSAWA, Taiga YODO and Motoi YOSHIOKA
- 2☆ 9:30 ミツボシクロスズメダイ未成魚の宿主イソギンチャク選択に与える共生クマノミ類の影響  
Influence of coexisting anemonefish species on the host selection of *Dascyllus trimaculatus*  
○林 希奈 (琉大院理工)・James Davis REIMER・立原 一憲 (琉大理)  
○Kina HAYASHI, James Davis REIMER and Katsunori TACHIYARA
- 3☆ 9:45 九州南部の沖積河川におけるウナギ属 2 種の流程分布とシラスウナギの遡上生態  
Riverine distribution and upstream migration of two anguillid species in an alluvial stream of southern Kyushu, Japan  
○松重 一輝・望岡 典隆 (九大院農)  
○Kazuki MATSUSHIGE and Noritaka MOCHIOKA
- 4☆ 10:00 ニホンウナギにおける産卵イベントの時空間的制約  
Spatiotemporal restrictions of spawning events in the Japanese eel  
○樋口 貴俊 (日大院生物資源)・渡邊 俊 (近大農)・丹羽 淑博 (東大院海洋教育セ)・山田 祥朗 (いらご研)・日比谷 紀之 (東大院理)・小島 隆人 (日大生物資源)・塚本 勝巳 (東大院農)  
○Takatoshi HIGUCHI, Shun WATANABE, Yoshihiro NIWA, Yoshiaki YAMADA, Toshiyuki HIBIYA, Takahito KOJIMA and Katsumi TSUKAMOTO

休憩 10:15~10:25

9月21日(土)

10:25~11:25

(分子遺伝)

5☆ 10:25

タンゴスジシマドジョウとオオシマドジョウは交雑しているのか?

Do two tetraploid spined loach species make hybrids between them?

○石原 雅子・森田 圭吾(近大院農)・入口 友香・高久 宏佑(自然研)・

北川 忠生(近大院農)

○Masako ISHIHARA, Keigo MORITA, Yuka IGUCHI, Kousuke TAKAKU and Tadao KITAGAWA

6☆ 10:40

濃尾平野におけるハリヨの遺伝的多様性と集団構造

Genetic diversity and population structure of 'Hariyo', the southernmost population of the threespine stickleback, in the Nobi Plain, central Honshu, Japan.

○浅野 真輝(京大院理)・森 誠一(岐阜協立大)・渡辺 勝敏(京大院理)

○Masaki ASANO, Seiichi MORI and Katsutoshi WATANABE

7☆ 10:55

マイクロサテライト DNA および SNP によるアカメの遺伝的集団構造分析

Genetic population structure analysis of *Lates japonicus* by microsatellite DNA and SNP markers

○内藤 拓哉・中山 耕至(京大院農)・武島 弘彦(東海大海洋)・橋口 康之(大阪医大)・三品 達平(理研 BDR)・竹下 直彦・田上 英明・高橋 洋(水大校)

○Takuya NAITO, Kouji NAKAYAMA, Hirohiko TAKESHIMA

Yasuyuki HASHIGUCHI, Tappei MISHINA, Naohiko TAKESHITA

Hideaki TANOUE and Hiroshi TAKAHASHI

8☆ 11:10

DNA バーコーディングを用いた黒潮流域における深海性魚類の多様性

DNA barcoding of deep sea fishes from the Kuroshio Current basin

○手良村 知功(東大水実)・小枝 圭太(黒生研)・瀬能 宏(神奈川県博)・菊池 潔・平瀬 祥太郎(東大水実)

○Akinori TERAMURA, Keita KOEDA, Hiroshi SENOU, Kiyoshi KIKUCHI and Shotaro HIRASE

## 2019年度 日本魚類学会学会賞

### 日本魚類学会奨励賞 受賞講演

「魚類をはじめとする水域生態系の保全と持続的な利活用を目指して」

乾 隆帝 (福工大社環)

日時 9月21日 13:40~14:10

場所 口頭発表第1会場 (210室)

### 日本魚類学会論文賞

「Phylogeography of *Opsariichthys platypus* in Japan based on mitochondrial DNA sequences」

北西 滋 (岐阜大地域) ・ 早川 明里 (岐阜大地域) ・ 高村 健二 (国立環境研) ・ 中島 淳 (福岡県保環研) ・ 河口 洋一 (徳島大工) ・ 鬼倉 徳雄 (九大院農) ・ 向井 貴彦 (岐阜大地域)

「Redescription of the bump-head sunfish *Mola alexandrini* (Ranzani 1839), senior synonym of *Mola ramsayi* (Giglioli 1883), with designation of a neotype for *Mola mola* (Linnaeus 1758) (Tetraodontiformes: Molidae)」

澤井 悦郎 (広島大院) ・ 山野上 祐介 (東大総合博物) ・ Marianne Nyegaard (Murdoch Univ.) ・ 坂井 陽一 (広島大院)

9月21日 (土)

15:20~16:20

(生態)

- 9☆ 15:20 ウナギ属魚類の環境 DNA メタバーコーディング用プライマーMiEel の開発  
New PCR primers "MiEel" for metabarcoding environmental DNA of freshwater eels, genus *Anguilla*  
○竹内 綾 (日大院生物資源) ・ 佐土 哲也 ・ 後藤 亮 (千葉中央博) ・ 渡邊 俊 (近大農) ・ 宮 正樹 (千葉中央博) ・ 塚本 勝巳 (東大院農)  
○Aya TAKEUCHI, Tetsuya SADO, Ryo O. GOTOH, Shun WATANABE, Masaki MIYA and Katsumi TSUKAMOTO
- 10 15:35 ウナギレプトセファルスの餌  
Food of eel leptcephali  
○塚本 勝巳 (東大院農)  
○Katsumi TSUKAMOTO

- 11☆ 15:50 ハゼ科両側回遊種の陸封化の鍵を握る仔魚期の生理特性  
Key physiological traits for land-locking in amphidromous goby larvae  
○大戸 夢木・渡辺 勝敏 (京大院理)  
○Yumeki OTO and Katsutoshi WATANABE
- 12 16:05 静岡県におけるカマヒレミミズハゼの生活史  
Life history of sickle-finned earthworm goby *Luciogobius* sp. (Gobiiformes, Oxudercidae) from Shizuoka Prefecture, Japan  
○武藤 文人・松本 和樹・内木場 柊也・丸山 裕暉 (東海大海洋)・渋谷 浩一 (ふじ環ミ)  
○Fumihito MUTO, Kazuki MATSUMOTO, Shuya UCHIKOBA  
Yuki MARUYAMA and Koichi SHIBUKAWA
- 休憩 16:20~16:30
- 9月21日(土)
- 16:30~17:30  
(生態)
- 13 16:30 丹沢の溪流魚の胃内容物中における正確なバイオマスの推定  
Estimation of aquatic biomass in gastric contents of fishes in mountain stream area in Tanzawa  
○遠藤 健斗・蓑宮 敦・勝呂 尚之 (神奈川水技セ内水試)  
○Kento ENDO, Atsushi MINOMIYA and Naoyuki SUGURO
- 14 16:45 アカエイ *Hemistrygon akajei* の繁殖生態と胚休眠の可能性  
Reproductive biology and embryonic diapause of red stingray, *Hemistrygon akajei*  
○山口 敦子 (長大水)・Jennifer WYFFELS (Delaware Univ.)・古満 啓介 (長大水)  
○Atsuko YAMAGUCHI, Jennifer WYFFELS and Keisuke FURUMITSU
- 15 17:00 ドチザメ *Triakis scyllium* の単為生殖: マイクロサテライト DNA 分析による検証  
Parthenogenesis in a banded hundshark (*Triakis scyllium*) validated by microsatellite DNA analysis  
○野原 健司・鈴木 春香・向 栞利 (東海大海洋)・稲村 修・草間 啓・木村 知晴 (魚津水族館)・山崎 曜 (遺伝研)・松崎 慎一郎 (国環研)・武島 弘彦 (東海大海洋)  
○Kenji NOHARA, Haruka SUZUKI, Shiori MUKAI, Osamu INAMURA, Kei KUSAMA, Chiharu KIMURA, Yo YAMASAKI, Shinichiro MATSUZAKI and Hirohiko TAKESHIMA



- 16 17:15 沖縄県八重山海域における大型フエフキダイ属 2 種の年齢, 成長と性構造  
Age, growth and sexuality of two large *Lethrinus* species in Yaeyama Islands,  
southern Japan  
○下瀬 環 (西海水研亜熱帯セ)  
○Tamaki SHIMOSE

9月22日(日)  
9:00~10:30  
(生態)

- 17 9:00 九州西部海域におけるヒラスズキの生活史特性  
Life-history traits of *Lateolabrax latus* at western parts of Kyushu in Japan  
○國島 大河 (和歌山自然博)・樋口 絢允・中村 育・河端 雄毅・古満 啓介・  
山口 敦子 (長大水産)・立原 一憲 (琉大理)・新垣 誠司 (九大天草)  
○Taiga KUNISHIMA, Shunsuke HIGHUCHI, Ikumi NAKAMURA, Yuuki  
KAWABATA, Keisuke FURUMITSU, Atsuko YAMAGUCHI, Katsunori  
TACHIHARA and Seiji ARAKAKI

- 18☆ 9:15 沖縄島におけるヒラニザの生活史  
Life history of *Acanthurus mata* in Okinawa Island  
○小柳 沙織 (琉大院理工)・立原 一憲 (琉大理)  
○Saori KOYANAGI and Katsunori TACHIHARA

- 19☆ 9:30 沖縄島周辺海域におけるオキザヨリの生活史ー “しじゃー” 3種との比較ー  
Life history of *Tylosurus crocodilus crocodilus* around Okinawa-jima Island  
○鈴木 理仁・立原 一憲 (琉大理)  
○Masato SUZUKI and Katsunori TACHIHARA

- 20 9:45 佐渡島におけるアユの回遊パタンの個体群内変異  
Intrapopulation variations in migratory patterns of Ayu *Plecoglossus altivelis*  
*altivelis* from Sado Island  
○飯田 碧 (新潟大佐渡セ臨海)・小黒 環 (新潟大院自然科学)・白井 厚太郎  
(東大大気海洋研)・安房田 智司 (大阪市大院理)  
○Midori IIDA, Tamaki OGURO, Kotaro SHIRAI and Satoshi AWATA

21☆ 10:00 佐渡島と隠岐諸島における両側回遊性ヨシノボリ属の海洋生活期間および河川における生息環境  
Pelagic larval duration and riverine habitat of an amphidromous goby genus *Rhinogobius* in Sado and Oki islands  
○木戸 杏香 (新大院自然)・白井 厚太朗 (東大大気海洋研)・飯田 碧 (新潟大佐渡セ臨海)  
○Kyoka KIDO, Kotaro SHIRAI and Midori IIDA

22☆ 10:15 沖縄島におけるミヤコキセンスズメダイとレモンスズメダイの成熟と年齢, 成長  
Maturation, age, and growth of *Chrysiptera brownriggii* and *C. rex* in Okinawa-jima Island  
○北野 聡太 (琉大院理工)・立原 一憲 (琉大理)  
○Sota KITANO and Katsunori TACHIHARA

休憩 10:30~10:40

9月22日(日)

10:40~12:10

(生態・分子遺伝)

23 10:40 海洋アイソスケープを用いたサケの回遊履歴復元  
Isotope tracking of long-distance ocean migration in chum salmon  
○松林 順 (JAMSTEC)・長田 穰 (東北大学)・陀安 一郎 (地球研)・大河内 直彦 (JAMSTEC)  
○Jun MATSUBAYASHI, Yutaka OSADA, Ichiro TAYASU and Naohiko OHKOUCHI

24 10:55 琵琶湖沿岸におけるコイの採餌生態: 同種との同所的採餌および他種との随伴行動  
Feeding behavior of common carp in coastal areas of Lake Biwa: possible feeding associations with conspecifics and other cyprinids  
○吉田 誠 (国環研琵琶湖)・佐藤 克文 (東大大海研)・馬淵 浩司 (国環研琵琶湖)  
○Makoto A. YOSHIDA, Katsufumi SATO and Kohji MABUCHI

- 25 11:10 一夫一妻・一夫多妻ハゼ科魚類における脳内バソトシン・イソトシン系の比較形態学的研究  
Morphological comparison of vasotocin and isotocin neuronal system between monogamous and polygamous gobiid fish  
○福田 和也 (名古屋大院生命農)・椋田 崇生 (鳥取大医)・川口 将史 (富山大院医薬)・阿部 秀樹・山本 直之 (名古屋大院生命農)  
○Kazuya FUKUDA, Takao MUKUDA, Masafumi KAWAGUCHI, Hideki ABE and Naoyuki YAMAMOTO
- 26☆ 11:25 九州周辺におけるアゴハゼの分子系統地理  
Phylogeography of *Chaenogobius annularis* around Kyushu region  
○加藤 柊也 (東大水実)・新垣 誠司 (九大天草臨海)・菊池 潔・平瀬 祥太郎 (東大水実)  
○Shuya KATO, Seiji ARAKAKI, Kiyoshi KIKUCHI and Shotaro HIRASE
- 27☆ 11:40 タツノオトシゴの育児嚢の形成への *fgf10a*・*wnt5a* 遺伝子の関与  
Influence of *fgf10a* and *wnt5a* of the formation of the seahorse brood pouch  
○原田 明里 (上智大院理工)・川原 玲香 (東農大ゲノム解析セ)・川口 眞理 (上智大理工)  
○Akari HARADA, Ryoka KAWAHARA and Mari KAWAGUCHI
- 28☆ 11:55 琵琶湖水系のヒガイ類における暗色型原因アレル頻度の空間的動態  
Spatial dynamics of the frequency of the causative-allele for melanism in *Sarcocheilichthys* fish inhabiting the Lake Biwa basin  
○早崎 佑亮 (福井県大海洋)・三品 達平 (理研 BDR)・伊藤 僚祐・渡辺 勝敏 (京大院理)・小宮 竹史 (久留米市)・小北 智之 (福井県大海洋)  
○Yusuke HAYASAKI, Tappei MISHINA, Ryosuke ITO, Katsutoshi WATANABE, Takefumi KOMIYA and Tomoyuki KOKITA

9月22日(日)

14:20~15:35

(生態・分子遺伝)

- 29 14:20 タナゴ亜科魚類における雌繁殖形質の多様性は適応進化の産物か?  
Is inter- and intra-specific diversity in female specialized reproductive traits of bitterlings a product of adaptive evolution?  
林 寿樹 (福井県大海洋)・北村 淳一 (三重県博)・○小北 智之 (福井県大海洋)  
Toshiki HAYASHI, Jyun-ichi KITAMURA and ○Tomoyuki KOKITA
- 30 14:35 あつぎこどもの森公園：無道谷 (ぶどうやと) におけるホトケドジョウの生態・保全  
The habits and maintenance of *Lefua echigonia* in forest Park of the Atsugi child・budouyato  
○住倉 英孝 (kwn)  
○Hidetaka SUMIKURA
- 31 14:50 琉球列島におけるスズメダイ科魚類の群集構造と生息環境  
Structure of Assemblage and Habitat of Pomacentridae species in the Ryukyu Archipelago  
○下間 彩子 (ホワイトスペース)  
○Ayako SHIMOTSUMA
- 32 15:05 栃木県宇都宮市の小河川におけるギバチ *Tachysurus tokiensis* の繁殖移動に関する研究  
A research on reproductive migration of *Tachysurus tokiensis* in a small stream  
○森 晃 (千葉県多様性センター)  
○Akira MORI
- 33 15:20 イタセンパラの全ゲノム決定に基づく歴史集団動態の推定  
Historical demography of Itasenpara, *Acheilognathus longipinnis*, based on whole-genome sequencing  
○渡辺 勝敏・伊藤 僚祐 (京大院理)・三品 達平 (理研 BDR)・池谷 幸樹 (アクア・トトぎふ)・上原 一彦 (大阪生物多様性セ)・森 誠一 (岐阜協立大)  
○Katsutoshi WATANABE, Ryosuke ITO, Tappei MISHINA, Koki IKEYA, Kazuhiko UEHARA and Seiichi MORI

休憩 15:35~15:45

9月22日(日)

15:45~17:00

(分子遺伝)

- 34 15:45 アカメ *Lates japonicus* における高い遺伝的多様性を示すゲノム領域の探索  
Genome-wide analysis of genetic diversity in the Akame (*Lates japonicus*) genome  
○橋口 康之 (大阪医大)・三品 達平 (理研 BDR)・武島 弘彦 (東海大海洋)・中山 耕至 (京大院農)・田上 英明・竹下 直彦・高橋 洋 (水大校)  
○Yasuyuki HASHIGUCHI, Tappei MISHINA, Hirohiko TAKESHIMA, Kouji NAKAYAMA, Hideaki TANOUE, Naohiko TAKESHITA and Hiroshi TAKAHASHI
- 35 16:00 サケ科サクラマス類似種群 (the *Oncorhynchus masou* complex) の地理的遺伝系統—境界領域における在来アマゴと在来ヤマメ個体群と生息実態と遺伝系統—  
Genetic characters of the *Oncorhynchus masou* complex, and their habitat of native populations and genetic structure of Amago Salmon and Yamame Salmon in the vicinity of their distributional border  
○岩槻 幸雄 (宮崎大農)・北西 滋 (大分大理工)・川嶋 尚正 (静岡内漁連)・金子 裕明 (神奈川 KWN)・勝呂 尚之 (神奈川内水試)  
○Yukio IWATSUKI, Shigeru KITANISHI, Naomasa KAWASHIMA, Hiroaki KANEKO and Naoyuki SUGURO
- 36 16:15 分布モデルと集団遺伝分析が明らかにするヒナゲンゲ *Petroschmidtia teraoi* の集団史  
Population history of a zoarcid fish *Petroschmidtia teraoi* inferred from spatial modelling and population genetic analyses  
○佐久間 啓・上田 祐司・藤原 邦浩 (水産機構日水研)・篠原 現人 (国立科博)・小島 茂明 (東大大海研)  
○Kay SAKUMA, Yuji UEDA, Kunihiro FUJIWARA, Gento SHINOHARA and Shigeaki KOJIMA
- 37 16:30 メダカ境界集団群は単一のメダカ種間雑種集団に由来する  
'Boundary Populations' of Medaka were originated from a single hybrid population between two Japanese species  
○入口 友香 (自然研)・植山 聖加 (近大農)・小山 直人・北川 忠生 (近大院農)  
○Yuka IGUCHI, Seika UHEYAMA, Naoto KOYAMA and Tadao KITAGAWA

Genetic population structure and phylogeography of *Hemibarbus* fishes

○田畑 諒一 (琵琶博)・富永 浩史 (関西学院高)・中島 淳 (福岡県保環研)・  
鬼倉 徳雄 (九大院農)・Sang-Ki KIM・Jeong-Nam YU (NNIBR)・日比野 友亮  
(北九州市博)・柿岡 諒 (遺伝研)・渡辺 勝敏 (京大院理)

○Ryouichi TABATA, Koji TOMINAGA, Jun NAKAJIMA, Norio ONIKURA,  
Sang-Ki KIM, Jeong-Nam YU, Yusuke HIBINO, Ryo KAKIOKA and Katsutoshi  
WATANABE

## 第2会場 (137)

9月21日 (土)

9:15~10:15

(分類)

- 39☆ 9:15      トラザメとイズハナトラザメは同種なのか？ 遺伝学的・形態学的調査に基づく検証  
Taxonomic status of *Scyliorhinus tokubee* based on genetic and morphological analyses  
○伊藤 菜波 (東海大院海洋)・藤井 美帆 (下田海中水族館)・田中 彰・野原 健司 (東海大海洋)  
○Nanami ITO, Miho FUJI, Sho TANAKA and Kenji NOHARA
- 40      9:30      フィリピンとマレーシアから得られたカタクチイワシ科インドアイノコイワシ属の2未記載種  
Two undescribed species of the genus *Stolephorus* (Clupeiformes: Engraulidae) from the Philippines and Malaysia  
○畑 晴陵 (科博分子セ)・Sébastien LAVOUÉ (USM)・本村 浩之 (鹿大総博)  
○Harutaka HATA, Sébastien LAVOUÉ and Hiroyuki MOTOMURA
- 41☆ 9:45      ナマズ目ハマギギ科 *Netuma jacksonensis* Whitley, 1941 の有効性  
Validity of the ariid catfish *Netuma jacksonensis* Whitley, 1941  
○高橋 夢加・木村 清志 (三重大院水実)  
○Yumeka TAKAHASHI and Seishi KIMURA
- 42      10:00      ヒメ目ハダカエソ科魚類の分類学的研究, Lestidiinae 亜科の再検討に向けて  
Study on the barracudina fish family Paralepididae, toward reviewing the subfamily Lestidiinae (Order Aulopiformes)  
○Hsuan-Ching HO (NMMBP/National Dong Hwa Univ., Taiwan)

休憩 10:15~10:25

9月21日(土)

10:25~11:25

(分類)

- 43☆ 10:25 アシロ科イタチウオ属魚類の分類学的再検討  
Revision of the ophidiid genus *Brotula* (Ophidiidae: Brotulinae)  
○水町 海斗 (高知大院理)・遠藤 広光 (高知大理工)  
○Kaito MIZUMACHI and Hiromitsu ENDO
- 44☆ (発表中止) オーストラリアから得られたトウゴロウイワシ科ギンイソイワシ属の未記載種と  
*Hypoatherina tropicalis* の形態変異  
An undescribed species of *Hypoatherina* collected from Australia and  
morphological variations in *H. tropicalis* (Atheriniformes: Atherinidae)  
○阿部 公哉・木村 清志・淀 太我・吉岡 基 (三重大生資)  
○Kimiya ABE, Seishi KIMURA, Taiga YODO and Motoi YOSHIOKA
- 45☆ 10:55 山形産トミヨ属魚類の形態的特徴と分類学的検討  
Morphological characterization and taxonomy of *Pungitius* sp. inhabiting  
Yamagata  
○松本 達也 (山形大院理工)・松浦 啓一 (国立科博)・森 誠一 (岐阜協立大)・  
齋藤 海・佐藤 龍星 (山形大理)・後藤 亮 (千葉中央博)・半澤 直人 (山形大理)  
○Tatsuya MATSUMOTO, Keiichi MATSUURA, Seiichi MORI, Kai SAITOH,  
Ryusei SATOH, Ryo GOTOH and Naoto HANZAWA
- 46☆ 11:10 ホウセキハタ *Epinephelus chlorostigma* 類似種群の分類学的再検討  
Taxonomic review of the *Epinephelus chlorostigma* species complex  
(Perciformes: Serranidae)  
○中村 潤平 (鹿大院水産)・本村 浩之 (鹿大総博)  
○Jumpei NAKAMURA and Hiroyuki MOTOMURA

9月21日(土)

15:20~16:20

(分類・系統・形態)

- 47☆ 15:20 シロカサゴ科シロカサゴ属魚類 *Setarches guentheri* の新参異名とされていた *S.*  
*fidjiensis* の有効性  
Validity of *Setarches fidjiensis*, previously regarded as a junior synonym of *S.*  
*guentheri* (Setarchidae)  
○和田 英敏 (鹿大院連農)・甲斐 嘉晃 (京大フィールド研)・本村 浩之 (鹿大  
総博)



- 48☆ 15:35 ○Hidetoshi WADA, Yoshiaki KAI and Hiroyuki MOTOMURA  
カマス科魚類 *Sphyraena novaehollandiae* 類似種群の分類学的再検討  
Taxonomic review of the *Sphyraena novaehollandiae* species complex  
(Sphyraenidae)  
○森下 悟至 (鹿大院水産)・本村 浩之 (鹿大総博)  
○Satoshi MORISHITA and Hiroyuki MOTOMURA
- 49 15:50 大西洋および東太平洋産アジ科魚類 *Selene* 属と *Carangoides otrynter* の系統的位  
置  
Phylogenetic positions of the Atlantic and East Pacific carangid fishes genus  
*Selene* and *Carangoides otrynter*  
○木村 清志・宿女 太志 (三重大水実)  
○Seishi KIMURA and Taishi YADOME
- 50☆ 16:05 アジ科ギンガメアジ属魚類の系統関係と属の再構成  
Phylogenetic relationship and reconstitution of the genus *Caranx*  
(Carangiformes: Carangidae)  
○宿女 太志・木村 清志 (三重大院水実)  
○Taishi YADOME and Seishi KIMURA

休憩 16:20~16:30

9月21日(土)

16:30~17:30

(分類・系統・形態)

- 51 16:30 ニュージーランドから採集された1未記載種を含むイトマキフグ属(フグ目:  
イトマキフグ科)の分類学的再検討  
Review of boxfishes of the genus *Kentrocopros* (Tetraodontiformes: Aracanidae)  
with a report on an undescribed species from New Zealand  
○松浦 啓一 (国立科博)  
○Keiichi MATSUURA
- 52 16:45 台湾南部から採集されたダルマガレイ属のダルマガレイによく似た2別種  
(カレイ目, ダルマガレイ科)  
Two valid species similar to *E. gandisquama* of the genus *Engyprosopon* from  
southern Taiwan (Pleuronectiformes, Bothidae)  
○尼岡 邦夫 (北大)・Hsuan-Ching HO (NMMBP / National Dong Hwa Univ.,  
Taiwan)  
○Kunio AMAOKA and Hsuan-Ching HO

53☆ 17:00 ウシノシタ科イヌノシタ属 *Cynoglossus kopsii* 種群の分類学的再検討  
Taxonomic review of the *Cynoglossus kopsii* complex (Cynoglossidae:  
*Cynoglossus*)  
○内藤 大河 (高知大院理)・遠藤 広光 (高知大理工)  
○Taiga NAITO and Hiromitsu ENDO

54 17:15 オニオコゼ科 *Inimicus sinensis* の性的二型と体側に存在する孔構造  
Sexual dimorphism in the Spotted Stinger *Inimicus sinensis* (Valenciennes,  
1833) and notes on pore structures on the body  
○Emmanuel S. DELLORO Jr. (UPV)・本村 浩之 (鹿大総博)・Ricardo P.  
BABARAN (UPV)  
○Emmanuel S. DELLORO Jr., Hiroyuki MOTOMURA and Ricardo P.  
BABARAN

9月22日(日)

9:00~10:30

(保全・資源)

55☆ 9:00 鹿児島湾の湾口部におけるマアジの初期生活史  
Early life history of jack mackerel *Trachurus japonicus* in the mouth of  
Kagoshima Bay  
○中屋 慧 (鹿大院)・小針 統・竹田 力・黒田 大海 (鹿大水産)・一宮 睦雄・  
小森田 智大 (熊本大環境共生)・平井 惇也 (東大大海研)・相田 真希 (JAMSTEC)・  
兵藤 不二夫 (岡山大)・久米 元 (鹿大水産)  
○Kei NAKAYA, Toru KOBARI, Tsutomu TAKEDA, Hiroumi KURODA, Mutsuo  
ICHINOMIYA, Tomohiro KOMORITA, Junya HIRAI, Maki AITA, Fujio HYODO  
and Gen KUME

56 9:15 鹿児島湾の湾口部におけるマサバとゴマサバの仔魚の出現状況について  
Occurrence of *Scomber japonicus* and *S. australasicus* larvae in the mouth of  
Kagoshima Bay  
○重村 太一 (鹿大院)・塩崎 一弘・小針 統・竹田 力 (鹿大水産)・一宮 睦雄・  
小森田 智大 (熊本大環境共生)・久米 元 (鹿大水産)  
○Taichi SHIGEMURA, Kazuhiro SHIOZAKI, Toru KOBARI, Tsutomu TAKEDA,  
Mutsuo ICHINOMIYA, Tomohiro KOMORITA and Gen KUME

- 57☆ 9:30 日本周辺におけるサッパ *Sardinella zunasi* の集団構造  
 Population structure of *Sardinella zunasi* around Japan  
 ○神代 瑞木 (長大院水環)・松本 真宜・山野 ひとみ (倉敷芸科大)・柳下 直己  
 (長大院水環)  
 ○Mizuki KUMASHIRO, Masaki MATSUMOTO, Hitomi YAMANO and Naoki YAGISHITA
- 58☆ 9:45 アユ(*Plecoglossus altivelis*)の亜種内・亜種間で観察された計数形質変異  
 Variation in meristic characteristics between and within subspecies of Ayu  
 (*Plecoglossus altivelis*)  
 ○Linh HA・井口 恵一朗 (長大院水環)  
 ○Linh HA and Keiichiro IGUCHI
- 59☆ 10:00 東京湾奥部に造成された「大森ふるさとの浜辺公園」におけるドロメの出現様式と食性  
 Occurrence patterns and feeding habits of *Chaenogobius gulosus* in the developed tidal flat, artificial sandy beach and seawall at the Furuham Park, Ota City, Tokyo  
 ○丸山 啓太・小野寺 暁 (海洋大院)・竹山 佳奈・中瀬 浩太 (五洋建設株式会社)・加納 光樹 (茨大水圏セ)・河野 博 (海洋大院)  
 ○Keita MARUYAMA, Akira ONODERA, Kana TAKEYAMA, Kota NAKASE, Kouki KANOU and Hiroshi KOHNO
- 60 10:15 丹沢溪流魚の危機！～ヤマメおよびカジカの分布域の縮小～  
 Crisis of freshwater fishes in the mountainous region of Tanzawa~Decrease in the distribution area of *Oncorhynchus masou masou* and *Cottus pollux*~  
 ○勝呂 尚之・遠藤 健斗 (神奈川水技セ内水試)・金子 裕明 (KWN)  
 ○Naoyuki SUGURO, Kento ENDOU and Hiroaki KANEKO

休憩 10:30~10:40

9月22日(日)

10:40~12:10

(分布・魚類相・卵・仔稚魚)

- 61☆ 10:40 養老・鈴鹿山脈周辺における淡水魚類の比較系統地理  
Comparative phylogeography of freshwater fishes around the Yoro and Suzuka Mountains  
○伊藤 玄(岐阜大院連農)・古屋 康則(岐阜大教育)・堀池 徳祐(静岡大農)・向井 貴彦(岐阜大地域)  
○Gen ITO, Yasunori KOYA, Tokumasa HORIIKE and Takahiko MUKAI
- 62 10:55 霞ヶ浦流入河川恋瀬川および12支流における魚類相:2年間ひたすらタモ網を振り続けた記録  
Ichthyofauna of the Koise River and its 12 tributaries, flowing into Lake Kasumigaura  
○栗岩 薫・中江 雅典(国立科博)・瀬能 宏(神奈川県博)  
○Kaoru KURIIWA, Masanori NAKAE and Hiroshi SENOU
- 63☆ 11:10 琉球列島から得られたボラ科稚魚の同定  
Identification of the juvenile mullet from Ryukyu Archipelago  
○福地 伊芙映(琉大院理工)・今井 秀行・立原 一憲(琉大理)  
○Ifue FUKUCHI, Hideyuki IMAI and Katsunori TACHIHARA
- 64☆ 11:25 日本海産とは異種かもしれない土佐湾産キュウリエソの幼期分布の年変動  
Annual fluctuations of early stage distribution in Tosa Bay of Kyuri-eso (*Maurolicus japonicus*), being questionable to identify with the Kyuri-eso from the Japan Sea  
○Liesel Cordel PARABOLES・木下 泉(高知大海洋研)  
○Liesel Cordel PARABOLES and Izumi KINOSHITA
- 65☆ 11:40 有明海, 諫早湾潮受堤防内外でのハゼ科3種(ワラスボ, ショウキハゼ, シマハゼ類)の分布の比較  
Comparison of early distribution between inside and outside reclamation dike of Isahaya inlet, Ariake Bay in three gobiid fishes  
○東島 昌太郎・Xiaodong WANG・木下 泉(高知大海洋研)・太田 太郎(公立鳥取環境大)・藤田 真二(西日本科技研)・広田 祐一(中央水研)  
○Shotaro TOJIMA, Xiaodong WANG, Izumi KINOSHITA, Taro OTA, Shinji FUJITA and Yuichi HIROTA

- 66☆ 11:55 土佐湾におけるサバ属の卵と仔魚の非同時性分布  
Occasional asynchrony in the distribution of *Scomber* eggs and larvae in Tosa Bay  
○Donna Masion GUARTE・木下 泉 (高知大海洋研)  
○Donna Masion GUARTE and Izumi KINOSHITA

9月22日(日)

14:20~15:35

(分類・系統・形態・分布・魚類相)

- 67 14:20 ニホンウナギ (*Anguilla japonica*) の側線系とその神経支配  
Lateral line system and its innervation in the Japanese eel *Anguilla japonica*  
○中江 雅典 (国立科博)・黒木 真理 (東大院農)・佐藤 真央 (高知大院理)・佐々木 邦夫 (高知大)  
○Masanori NAKAE, Mari KUROKI, Mao SATOU and Kunio SASAKI
- 68 14:35 アカメの眼はなぜ赤いのか? アカメ属魚類における特殊なグアニン型脈絡膜タペータム  
Guanine-type choroidal tapetum equipped with red filter in the eye of two *Lates* fishes  
○武井 史郎・三上 英希 (中部大応用生物)・妹尾 圭司 (浜松医大生物)・針山 孝彦 (浜松医大ナノスーツ)・宗宮 弘明 (中部大 ESD センター)  
○Shiro TAKEI, Eiki MIKAMI, Keiji SENO, Takahiko HARIYAMA and Hiroaki SOMIYA
- 69 14:50 肉鰭魚の四肢動物への形態学的進化を解明する統合的アプローチ: Evo-Devo, ゲノミクス, デジタル技術, バイオメカニクス, 工学  
An integrated approach in unveiling morphological evolution of sarcopterygian fishes to tetrapods: Evo-Devo, genomics, digital technologies, biomechanics, and engineering  
○ミヤケ ツトム (東京慈恵会医大)・岩田 雅光 (ふくしま海洋科学館)・鯉江 洋 (日大生物資源)・熊本 水頼 (京都大)・佐藤 隆一 (金沢工業大)・岡部 正隆 (東京慈恵会医大)・渡辺 純一 (東京大)・野上 貞雄 (日本大)・K. W. A. MASENGI (Sam Ratulangi Univ., Indonesia)・A. SYAHAILATUA (Res. Ctr. DeepSea, LIPI, Indonesia)・安部 義孝 (ふくしま海洋科学館)  
○Tsutomu MIYAKE, Masamitsu IWATA, Hiroshi KOIE, Minayori KUMAMOTO, Ryuichi SATO, Masataka OKABE, Jun-ichi WATANABE, Sadao NOGAMI, K. W. A. MASENGI, A. SYAHAILATUA and Yoshitaka ABE

- 70 15:05 高槻市立自然博物館に収蔵されている 1970 年代の芥川産魚類標本  
Akuta-river fish collection from 1970s in Takatsuki Nature Museum  
○花崎 勝司 (高槻市立自然博)  
○Katsuji HANAZAKI
- 71 15:20 昭和時代初期のサツキマス分布：農林省水産局「河川漁業」の情報からの推定  
Distribution of anadromous red-spotted masu salmon *Oncorhynchus masou ishikawae* from 1927 to 1931 in Japan  
○岸 大弼・徳原 哲也 (岐阜水研)  
○Daisuke KISHI and Tetsuya TOKUHARA

休憩 15:35～15:45

9月22日(日)

15:45～17:00

(分布・魚類相・保全・資源)

- 72 15:45 電気式漁具と環境 DNA を用いた調査における魚類相データの違い  
Differences in fish fauna data in surveys using electric fishing and environmental DNA  
○中島 淳・平川 周作 (福岡県保環研)  
○Jun NAKAJIMA and Shusaku HIRAKAWA
- 73 16:00 北海道における環境DNAを用いたサケ科魚類のモニタリング  
Environmental DNA for monitoring salmonid fishes in Hokkaido  
○荒木 仁志 (北大院農)  
○Hitoshi ARAKI
- 74 16:15 芦ノ湖のワカサギは湖岸で産卵する  
Reproductive behavior of *Hypomesus nipponensis* at the littoral zone in Lake Ashinoko  
○工藤 孝浩 (神奈川水技セ内水試)  
○Takahiro KUDO
- 75 16:30 消滅の瀬戸際にたたされた奄美リュウキュウアユ  
Amami Ryukyu Ayu on the edge of extinction  
久米 元・米沢 俊彦・井口 恵一朗・立原 一憲・西田 睦・四宮 明彦 (リュウキュウアユ保全)  
Gen KUME, Toshihiko YONEZAWA, Keiichiro IGUCHI, Katsunori TACHIHARA, Mutsumi NISHIDA and Akihiko SHINOMIYA

- 76      16:45      魚類自然史標本から明らかになった琵琶湖の魚類寄生性等脚類の絶滅危惧  
The threat of extinction in fish parasitic isopods of Lake Biwa revealed from  
natural history specimens of fish  
○川西 亮太（北大院地球環境）  
○Ryota KAWANISHI

## ポスター発表

ポスター発表初日の9月21日 午前9時15分までに指定の場所に貼付し、2日間掲示する。  
奇数演題のコアタイムは9月21日(土) 14:15~15:15, 偶数演題は9月22日(日) 13:15~14:15。  
☆は優秀発表賞応募発表を, ○は演者を示す。

### ポスター会場 (学生会館食堂)

- 77                    フィリピンから得られたウミヘビ科ムカシウミヘビ属の1未記載種  
An undescribed species of *Neenchelys* (Anguilliformes: Ophichthidae), collected from Philippines  
○日比野 友亮 (北九州市博)  
○Yusuke HIBINO
- 78☆                  北西太平洋に出現するウミヘビ科魚類葉形仔魚の形態と DNA バーコーディングによる種同定  
Morphology and species identification of Ophichthid leptocephali from the northwestern Pacific using DNA barcoding  
○遠藤 詢介 (九大院農)・日比野 友亮 (北九州市博)・望岡 典隆 (九大院農)  
○Shunsuke ENDO, Yusuke HIBINO and Noritaka MOCHIOKA
- 79                    台湾産アユの分類に関する課題と展望  
Taxonomic problem and perspective on Ayu *Plecoglossus altivelis* from Taiwan  
○小西 雅樹 (近大農)・川瀬 成吾 (大阪経法大)・Jin-Chywan GWO (National Taiwan Ocean Univ.)・Ying-Tzung SHIEH (National Taiwan Museum)・Wei-Jen CHEN (National Taiwan Univ.)・細谷 和海 (近大農)  
○Masaki KONISHI, Seigo KAWASE, Jin-Chywan GWO, Ying-Tzung SHIEH, Wei-Jen CHEN and Kazumi HOSOYA
- 80                    日本周辺におけるホテイエソ亜科魚類 *Eustomias gibbsi* の記録  
Records of the scaleless black dragonfish *Eustomias gibbsi* from Japan  
○石川 仁瓶 (東海大海洋)・大橋 慎平・田中 文也・清藤 秀理 (水産機構国際水研)・中山 直英 (東海大海洋)  
○Jinpei ISHIKAWA, Shinpei OHASHI, Fumiya TANAKA, Hidetada KIYOFUJI and Naohide NAKAYAMA



- 81☆ 鹿児島県与論島および台湾から得られたチゴダラ科チゴダラ属の1未記載種  
An undescribed species of the genus *Physiculus* (Moridae) from Yoron Island, Japan and Taiwan  
○泉 幸乃 (高知大院理)・遠藤広光 (高知大理工)・本村浩之 (鹿大総博)  
○Yukino IZUMI, Hiromitsu ENDO and Hiroyuki MOTOMURA
- 82 東インド洋から得られたソコダラ科トウジン属の1未記載種  
An undescribed species of the grenadier genus *Coelorinchus* from the eastern Indian Ocean (Gadiformes: Macrouridae)  
○中山 直英 (東海大海洋)  
○Naohide NAKAYAMA
- 83 フサカサゴ科マメサンゴカサゴ類似種群の分類学的再検討  
Taxonomic review of the *Scorpaenodes hirstus* species complex (Perciformes: Scorpaenidae)  
○星野 和夫 (大分うみたまご)・大澤 洋太 (名古屋海産市場)・本村 浩之 (鹿大総博)  
○Kazuo HOSHINO, Youta OHZAWA and Hiroyuki MOTOMURA
- 84☆ 日本とオーストラリアから採集されたアシロ属の1未記載種  
An undescribed species of *Ophidion* (Ophidiiformes: Ophidiidae) from Japan and Australia  
○溝脇 一輝 (高知大院理)・遠藤 広光 (高知大理工)  
○Kazuki MIZOWAKI and Hiromitsu ENDO
- 85 ヨウジウオ科オクヨウジ属の分類学的再検討  
Taxonomic review of the genus *Urocampus* (Syngnathiformes: Syngnathidae)  
○荒木 萌里 (鹿大院農水)・本村 浩之 (鹿大総博)  
○Moeri ARAKI and Hiroyuki MOTOMURA
- 86☆ インドシナ半島から得られたメダカ属の2未記載種および系統関係  
Phylogeny and two undescribed species of the genus *Oryzias* from the Indochinese Peninsula  
○小林 大純 (琉大院理工)・Hau Duc TRAN (HNUE)・Bounsong VONGVICHITH (LARReC)・前田 健 (OIST)・小出水 規行 (NARO)・森岡 伸介 (JIRCAS)・山平 寿智 (琉大熱生研)  
○Hirozumi KOBAYASHI, Hau Duc TRAN, Bounsong VONGVICHITH, Ken MAEDA, Noriyuki KOIZUMI, Shinsuke MORIOKA and Kazunori YAMAHIRA

- 87 オーストラリア・クイーンズランド州から得られたフサカサゴ属の1未記載種  
An undescribed species of the genus *Scorpaena* (Teleostei: Scorpaenidae) from the east coast of Queensland, Australia  
○Kunto WIBOWO (鹿大院連農)・本村 浩之 (鹿大総博)  
○Kunto WIBOWO and Hiroyuki MOTOMURA
- 88 日本近海産ソコホウボウ属魚類の検索について  
A key of the genus *Pterygotrigla* around Japan  
○矢頭 卓児 (神戸高)  
○Takuji YATO
- 89☆ ハオコゼ科ハチオコゼに確認された形態的二型  
Two morphotypes found in specimens identified as *Ocosia vespa* (Tetrarogidae)  
○堀内 大敬 (鹿大水産)・甲斐 嘉晃 (京大フィールド研)・本村 浩之 (鹿大総博)  
○Masahiro HORIUCHI, Yoshiaki KAI and Hiroyuki MOTOMURA
- 90 ハオコゼ科ナガハチオコゼ属の分類学的再検討  
Review of the waspfish genus *Neocentropogon* (Tetrarogidae)  
○Sirikanya CHUNGTHANAWONG (鹿大院連農)・本村 浩之 (鹿大総博)  
○Sirikanya CHUNGTHANAWONG, and Hiroyuki MOTOMURA
- 91 北海道太平洋沖から得られたカジカ科の2未記載種とその帰属  
Two undescribed species of Cottidae from the Pacific coast of Hokkaido with comments on their systematic positions  
○甲斐 嘉晃 (京大フィールド研)・稲川 亮 (道総研)  
○Yoshiaki KAI and Ryo INAGAWA

- 92 北海道知床羅臼沖のクサウオ科魚類  
 Snailfishes of off-Rausu, Shiretoko Peninsula, Hokkaido, Japan  
 ○松崎 浩二・上運天 萌子・森 俊彰・平 治隆・平澤 桂 (ふくしま海洋科学館)・  
 甲斐 嘉晃 (京大フィールド研)  
 ○Koji MATSUZAKI, Moeko KAMIUNTEN, Toshiaki MORI, Harutaka TAIRA,  
 Kei HIRASAWA and Yoshiaki KAI
- 93 オニハタ科オニハタ属魚類の分類学的研究  
 Review of the genus *Centrogenys* (Centrogenyidae)  
 ○松沼 瑞樹 (近大農)  
 ○Mizuki MATSUNUMA
- 94 *Asperapogon* 属の有効性と 1 未記載属を含むコミナトテンジクダイ属の形態学的再  
 定義 (スズキ目: テンジクダイ科)  
 Re-definition of the genus *Apogon* with validity of *Asperapogon* and an  
 undescribed genus (Perciformes: Apogonidae)  
 ○吉田 朋弘 (西海水研)・武藤 望生 (東海大生物)・本村 浩之 (鹿大総博)  
 ○Tomohiro YOSHIDA, Nozomu MUTO and Hiroyuki MOTOMURA
- 95 マルキーズ諸島から得られたウミヒゴイ属の 1 未記載種  
 An undescribed species of the genus *Parupeneus* (Mullidae) from the Marquesas  
 Islands  
 ○渋谷 駿太 (鹿大水産)・本村 浩之 (鹿大総博)  
 ○Shunta SHIBUYA and Hiroyuki MOTOMURA
- 96 西太平洋に分布するオハグロベラ属の 1 未記載種  
 An undescribed species of the genus *Pteragogus* (Labridae) from the western  
 Pacific Ocean  
 ○上城 拓也 (鹿大院水産)・John E. RANDALL (BPBM)・本村 浩之 (鹿大総博)  
 ○Takuya UEJO, John E. RANDALL and Hiroyuki MOTOMURA
- 97☆ 沖縄県から得られた標本に基づく日本初記録のベラ科魚類 *Oxycheilinus arenatus*  
 First specimen-based record of *Oxycheilinus arenatus* (Perciformes: Labridae)  
 from Japan  
 ○出羽 優風 (鹿大水産)・桜井 雄 (沖縄環境調査)・中村 潤平 (鹿大院水産)・  
 本村 浩之 (鹿大総博)  
 ○Yuna DEWA, You SAKURAI, Jumpei NAKAMURA and Hiroyuki MOTOMURA

- 98☆                   ウバウオ科アンコウウバウオ属の分類学的再検討  
Revision of the clingfish genus *Conidens* (Gobiesocidae: Trachelochisminae)  
○藤原 恭司 (鹿大院連農)・本村 浩之 (鹿大総博)  
○Kyoji FUJIWARA and Hiroyuki MOTOMURA
- 99                     佐渡島で採集された上眼窩管の開孔数が8個(4対)のウキゴリ属魚類  
A species of the genus *Gymnogobius* (Gobiidae) with eight (four pairs) pores on supraorbital canal collected from Sado Island  
○馬場 吉弘 (十日町高・新大院自然)・松本 史郎・伊藤 正一 (新潟河川生態研)  
○Yoshihiro BABA, Shiro MATSUMOTO and Shoichi ITO
- 100                    小笠原諸島父島から得られたスナハゼ科スナハゼ属の一種  
A species of the genus *Kraemeria* (Kraemeriidae) collected from Ogasawara Islands  
○片山 英里 (水産無脊椎動物研)・内野 啓道・瀬能 宏 (神奈川県博)  
○Eri KATAYAMA, Keidou UCHINO and Hiroshi SENOU
- 101☆                   日本産ササウシノシタ科ミナシマウシノシタ属の分類学的再検討  
Taxonomic review of the sole genus *Brachirus* from Japan (Pleuronectiformes: Soleidae)  
○岡本 情 (鹿大水産)・本村 浩之 (鹿大総博)  
○Jo OKAMOTO and Hiroyuki MOTOMURA
- 102                    フィリピン・パナイ島から得られた初記録の魚類  
New records of fishes from Panay Island, Philippines  
○Roxanne A. CABEBE・Ricardo P. BABARAN (UPV)・岡本 情 (鹿大水産)・本村 浩之 (鹿大総博)  
○Roxanne A. CABEBE, Ricardo P. BABARAN, Jo OKAMOTO and Hiroyuki MOTOMURA
- 103                    東京海洋大学に保管される伊藤熊太郎が描いた魚類の写生帖と原画  
Fish drawings (sketchbooks and original paintings) made by Kumataro Ito, deposited in Tokyo University of Marine Science and Technology  
○篠原 現人・沓名 貴彦 (国立科博)・馬場 真紀子 (海洋大図書)・河野 博 (海洋大)  
○Gento SHINOHARA, Takahiko KUTSUNA, Makiko BABA and Hiroshi KOHNO

- 104☆ 倉敷市立自然史博物館に所蔵されている高梁川水系産の淡水魚類標本  
Freshwater fish specimens from Takahashi River, deposited at Kurashiki  
Museum of Natural History  
○三ツ井 博晃 (倉敷芸科大院産業)・後藤 颯太 (中津川市防災安全課)・  
江田 伸司 (倉敷市立自然史博)・山野 ひとみ (倉敷芸科大)  
○Hiroaki MITSUI, Souta GOTOH, Shinji EDA and Hitomi YAMANO
- 105 水中映像によるインドネシアシーラカンス *Latimeria menadoensis* の個体識別と  
計測  
Individual identification and measurements of *Latimeria menadoensis* based on  
underwater video  
○岩田 雅光 (ふくしま海洋科学館)・猿渡 敏郎 (東大大海研)・藪本 美孝 (北九州  
自然史博)・Teguh PERISTIWADY (TIUMBCB-LIPI)・Frenslly D. HUKOM・  
DIRHAMSYAH (RCO-LIPI)・Augy SYAHAILATUA (RCDS-LIPI)・Kawilarang  
W.A. MASENGI (Sam Ratulangi Univ.)・山内 信弥・松崎 浩二・藤井 健一・森  
俊彰・安部 義孝 (ふくしま海洋科学館)  
○Masamitsu IWATA, Toshiro SARUWATARI, Yoshitaka YABUMOTO, Teguh  
PERISTIWADY, Frenslly D. HUKOM, DIRHAMSYAH, Augy SYAHAILATUA,  
Kawilarang W.A. MASENGI, Shinya YAMAUCHI, Koji MATSUZAKI, Kenichi  
FUJII, Toshiaki MORI and Yoshitaka ABE
- 106 インドネシアシーラカンス *Latimeria menadoensis* の骨学的研究  
Osteology of the Indonesian coelacanth, *Latimeria menadoensis*  
○藪本 美孝 (北九州自然史博)・岩田 雅光 (ふくしま海洋科学館)・猿渡 敏郎 (東  
大大海研)・鯉江 洋 (日大生物資源)・Teguh PERISTIWADY (TIUMBCB-LIPI)・  
Frenslly D. HUKOM (RCO-LIPI)・Kawilarang W. A. MASENGI (Sam Ratulangi  
Univ.)・安部 義孝 (ふくしま海洋科学館)  
○Yoshitaka YABUMOTO, Masamitsu IWATA, Toshiro SARUWATARI, Hiroshi  
KOIE, Teguh PERISTIWADY, Frenslly D. HUKOM, Kawilarang W. A.  
MASENGI and Yoshitaka ABE
- 107 現生シーラカンスの肺. 生きた化石の中のレリック?  
Lung of extant coelacanth. A relic inside a living fossil?  
○猿渡 敏郎 (東大大海研)・岩田 雅光 (ふくしま海洋科学館)・藪本 美孝  
(北九州自然史博)・鯉江 洋 (日大生物資源)・Teguh PERISTIWADY  
(TIUMBCB-LIPI)・Frenslly D. HUKOM (RCO-LIPI)・安部 義孝 (ふくしま海  
洋科学館)  
○Toshiro SARUWATARI, Masamitsu IWATA, Yoshitaka YABUMOTO, Hiroshi

- 108 KOIE, Teguh PERISTIWADY, Frenslly D. HUKOM and Yoshitaka ABE  
 ウナギ属魚類の骨格変異  
 Osteological variation of the genus *Anguilla*  
 ○羽多 宏彰 (ウエスコ)・細谷 和海 (近大)・渡邊 俊 (近大農)  
 ○Hiroaki HATA, Kazumi HOSOYA and Shun WATANABE
- 109☆ セキトリーワシ属の単系統性の検証  
 Evaluation of the monophyly of the genus *Rouleina* (Alepocephaliformes: Alepocephalidae)  
 ○千田 哲朗・河合 俊郎 (北大院水産)・今村 央 (北大院水産/北大総博)  
 ○Tetsuro SENDA, Toshio KAWAI and Hisashi IMAMURA
- 110 北海道に生息する日本産ドジョウ種群の 隠蔽種 (*Misgurnus* sp. Type I) は移殖の可能性が高い  
 Possibility of introduced origin of the cryptic dojo loach species (*Misgurnus* sp. Type I) populations in Hokkaido Island  
 ○岡田 龍也 (近大農)・森田 圭吾 (日本ミクニヤ株式会社)・外山 太一郎 (茨城県水戸市)・小野里 坦 (長野県松本市)・高田 啓介 (信大理)・北川 忠生 (近大農)  
 ○Ryuya OKADA, Keigo MORITA, Taichiro TOYAMA, Hiroshi ONOZATO, Keisuke TAKATA and Tadao KITAGAWA
- 111☆ ホトケドジョウ属魚類 3 種における胸鰭形態の比較  
 Morphological comparison of the pectoral fin between three species of the genus *Lefua*  
 ○アジマン 優仁 (三重大生資)・淀 太我 (三重大院生資)  
 ○Eugene AGYEMAN and Taiga YODO
- 112☆ テンジクダイ科クダリボウズギスモドキ属およびクダリボウズギス属魚類における側線系とその神経支配  
 The lateral line system and its innervation in species of *Pseudamiops* and *Gymnapogon* (Apogonidae)  
 ○佐藤 真央 (高知大院理)・佐々木 邦夫 (高知大)  
 ○Mao SATOU and Kunio SASAKI

- 113 タンパク構造解析法応用によるマクロ 3D 形態定量解析法開発(第3報)従来法との統合へ向けた比較検討  
Development of a new quantitative macroscopic 3D-structure analysis applying methods for atomic-resolution protein structures: toward integration with the pre-existing methods  
○加藤 善一郎 (岐阜大構造医学・小児)・岸田 宗範 (宮内庁上皇職生研)・福岡 大輔 (岐阜大教育)・原 武史 (岐阜大工学)・富永 浩史 (関西学院高)・川瀬 成吾 (大阪経法大)・中田 浩平・神志那 弘明 (岐阜大連合獣医)  
○Zenichiro KATO, Munenori KISHIDA, Daisuke FUKUOKA, Takeshi HARA, Koji TOMINAGA, Seigo KAWASE, Kohei NAKATA and Hiroaki KAMISHINA
- 114 水槽飼育下におけるメコンオオナマズ *Pangasianodon gigas* の摂餌周期と耳石輪紋形成  
Otolith ring crest formation and feeding rhythm of *Pangasianodon gigas* in an aquarium  
○池谷 幸樹 (アクア・トトぎふ)・表 健一郎 (マリノリサーチ)  
○Koki IKEYA and Kenichiro OMOTE
- 115☆ トミヨ属淡水型の生殖周期と雄の腎臓組織の季節変化  
Reproductive cycle and seasonal changes of renal histology in nine-spined stickleback  
○長屋 美希 (岐阜大院教育)・山家 秀信 (東京農大生物)・古屋 康則 (岐阜大教育)  
○Miki NAGAYA, Hidenobu YAMBE and Yasunori KOYA
- 116 d-rR メダカの明暗選好性を利用した不安様行動試験  
Light-dark preference test in medaka, *Oryzias latipes*  
下村 健太・丹羽 遥香 (近大理工)・三浦 健佑 (近大院理)・大塚 愛理 (近大理工)・○加川 尚 (近大院理)  
Kenta SHIMOMURA, Haruka NIWA, Kensuke MIURA, Airi OTSUKA and  
○Nao KAGAWA
- 117 ドンコの精巣構造と精子形成の特徴  
Testicular morphology and spermatogenesis in *Odontobutis obscura obscura*  
○古屋 康則・喜多 祥也 (岐阜大教育)  
○Yasunori KOYA and Shoya KITA

- 118☆ マンボウおよびヤリマンボウの生殖腺構造  
Gonad structure in two species of ocean sunfishes, *Mola mola* and *Masturus lanceolatus*  
○吉原 もも乃 (海洋大館山)・澤井 悦郎 (マンなん博)・須之部 友基 (海洋大館山)  
○Momono YOSHIHARA, Etsuro SAWAI and Tomoki SUNOBE
- 119☆ 穏和な組織透明化法によるグアニン型網膜タペータムの肉眼解剖学的可視化  
Anatomical visualaization of guanine type retinal tapetum with mild tissue clearing method  
○三上 英希 (中部大応用生物)・紺野 在 (浜松医大)・武井 史郎 (中部大応用生物)  
○Eiki MIKAMI, Alu KONNO and Shiro TAKEI
- 120 雌雄同体魚種データベースの公開と体長有利性説の検証  
Publication of the database of hermaphroditic fish species with verification of the size-advantage model  
○桑村 哲生 (中京大国際教養)・須之部 友基 (海洋大館山)・坂井 陽一 (広島大院統合生命)・門田 立 (水産機構西海水研)・澤田 紘太 (水産機構国際水研)  
○Tetsuo KUWAMURA, Tomoki SUNOBE, Yoichi SAKAI, Tatsuru KADOTA and Kota SAWADA
- 121☆ 炭素・窒素安定同位体比を用いた琵琶湖北湖における食物網構造解析  
Food web structure analysis using carbon and nitrogen stable isotope rations at north Biwa Lake, Shiga Prefecture  
○山口 達成・光永 靖 (近大院農)  
○Tatsunari YAMAGUCHI and Yasushi MITSUNAGA
- 122 サング礁生態系における藻食性魚類の生態的機能に関する研究  
Functional role of herbivorous fishes on coral reef environment  
○秋田 雄一・長濱 秀紀 (沖水海技セ)・上原 匡人 (沖縄県水産課)・岩井 憲司・紫波 俊介 (沖裁セ)  
○Yuichi AKITA, Hideki NAGAHAMA, Masato UEHARA, Kenji IWAI and Toshiyuki SHIWA



- 123 ニュージーランドオオウナギの産卵回遊行動  
 Spawning migration behaviour of New Zealand Long fin eel *Anguilla dieffenbachii*  
 ○渡邊 俊 (近大農)・樋口 貴俊 (日大院生物資源)・能代 正治 (日大生物資源)・眞鍋 諒太郎 (愛媛水研セ)・Michael J. MILLER (東大院農)・Donald J. JELLYMAN (NIWA)・塚本 勝巳 (東大院農)  
 ○Shun WATANABE, Takatoshi HIGUCHI, Masaharu NOSHIRO, Ryotaro MANABE, Michael J. MILLER, Donald J. JELLYMAN and Katsumi TSUKAMOTO
- 124☆ 四国西部・瀬戸内海沿岸河川におけるニホンウナギの生息場所利用  
 Habitat use by Japanese eel in rivers on the Seto Inland Sea coast, western Shikoku, Japan  
 ○三町 壮大・山本 貫太 (愛媛大院理工)・植村 洋亮 (愛媛大理)・井上 幹生・畑 啓生 (愛媛大院理工)  
 ○Sota MIMACHI, Kanta YAMAMOTO, Yohsuke UEMURA, Mikio INOUE and Hiroki HATA
- 125 耳石酸素安定同位体比分析によるウナギ仔魚の水温環境の復元  
 Temperature reconstruction of the oceanic migration of anguillid eel larvae using otolith oxygen stable isotopes  
 ○黒木 真理・早坂 俊亮 (東大院農)・白井 厚太郎 (東大大気海洋研)  
 ○Mari KUROKI, Shunsuke HAYASAKA and Kotaro SHIRAI
- 126 館山湾におけるウツボ *Gymnothorax kidako* の行動範囲とペア形成  
 Home range and pairing of *Gymnothorax kidako* in Tateyama Bay  
 ○坂井 遥・大森 尚也・須之部 友基 (海洋大館山)  
 ○Haruka SAKAI, Naoya OHMORI and Tomoki SUNOBE
- 127☆ 冬季において水温がオイカワの肥満度に及ぼす影響  
 Effect of water temperature on physiological condition of pale chub in winter  
 ○東垣 大祐 (愛媛大院理工)・佐々木 進一 (愛媛県水研センター)・井上 幹生 (愛媛大院理工)  
 ○Daisuke TOGAKI, Shin-ichi SASAKI and Mikio INOUE

- 128 琵琶湖水系瀬田川に侵入したチャネルキャットフィッシュの成熟と体長  
Maturity and body length of channel catfish, in outlet Seta River, Lake Biwa system  
○石崎 大介・三枝 仁・臼杵 崇広・田口 貴史・亀甲 武志・根本 守仁 (滋賀水試)  
○Daisuke ISHIZAKI, Jin SAEGUSA, Takahiro USUKI, Takashi TAGUCHI, Takeshi KIKKO and Morihito NEMOTO
- 129☆ チャネルキャットフィッシュ侵入防止スクリーン付きの張網による魚類・甲殻類の捕獲状況  
Catch efficiency of fishes and crustaceans by set nets with the screen to prevent invasion of channel catfish  
○古旗 峻一 (茨城大水圏セ)・所 史隆・根本 隆夫 (茨城県水試)・加納 光樹 (茨城大水圏セ)  
○Ryoichi FURUHATA, Fumitaka TOKORO, Takao NEMOTO and Kouki KANOU
- 130 アデリーランドおよびリュツオ・ホルム湾沖 (南大洋インド洋セクター) における *Bathylagus antarcticus* (ソコイワシ科) の食性  
Food habit of the Antarctic microstomatid fish *Bathylagus antarcticus* collected from the seas off Adélie Land and Lützw-Holm Bay, Indian Ocean sector of the Southern Ocean  
○安田 海来 (海洋大)・茂木 正人 (海洋大/極地研)  
○Mirai YASUDA and Masato MOTTEKI
- 131 サケ野生魚と放流魚の稚魚の食性比較  
Comparison of fry food habits between wild and hatchery chum salmon  
○森田 健太郎 (水研機構北水研)  
○Kentaro MORITA
- 132☆ 自然条件下におけるイワナによるアマゴ当歳魚の捕食  
Predation on age-0 masu salmon by charr under natural conditions  
○大久保 征 (愛媛大院教育)・篠原 拓馬・井上 幹生 (愛媛大院理工)  
○Sei OKUBO, Takuma SHINOHARA and Mikio INOUE

- 133 奄美大島の役勝川・住用川河口沿岸域におけるリュウキュウアユ仔稚魚の成長  
Growth of larval and juvenile Ryukyu-ayu *Plecoglossus altivelis ryukyuensis* in Amami-oshima Island  
○森脇 隆之介・久米 元 (鹿大水産)  
○Ryunosuke MORIWAKI and Gen KUME
- 134 沖縄島中部の野外から採集されたタウナギ (*Monopterus* sp.) の卵と稚魚  
The first record of eggs and juveniles of Ryukyuan Swamp Eel (*Monopterus* sp.) from middle part of Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, Japan  
○糸 正幸 (沖縄県西原町在住)・吉岡 由恵 (公財沖縄こどもの国)・刀禰 浩一 (沖縄市立郷土博物館)・佐藤 寛之 (キュリオス沖縄)  
○Masayuki KUME, Yoshie YOSHIOKA, Koichi TONE and Hiroyuki SATO
- 135 淀川城北ワンド群におけるオオクチバス仔稚魚の食性  
Diet of larvae and juveniles of largemouth bass *Micropterus salmoides* in Shirokita Wando, the Yodo River  
○鶴田 哲也 (大阪産大デザイン工)・中埜 将太 (大阪産大人間環境)・上原 一彦 (大阪生物多様性セ)  
○Tetsuya TSURUTA, Shota NAKANO and Kazuhiko UEHARA
- 136 新潟県沿岸域におけるアカムツの成熟と産卵  
Maturation and spawning of *Doederleinia berycoides* in the coastal waters off Niigata Prefecture  
○八木 佑太・藤原 邦浩 (水産機構日水研)・酒井 猛 (水産機構西水研)・新田 誠 (新潟市水族館)・福西 悠一 (富山水研)  
○Yuta YAGI, Kunihiro FUJIWARA, Takeshi SAKAI, Makoto NITTA and Yuichi FUKUNISHI
- 137 鹿児島湾におけるオオモンハタの性転換様式  
Sex change of *Epinephelus areolatus* in Kagoshima Bay  
○森年 エマ日向子・久米 元 (鹿大水産)  
○Emma Hinako MORITOSHI and Gen KUME
- 138 ヒメコダイとホシヒメコダイの性転換について  
Hermaphroditism of *Chelidoperca hirundinacea* and *C. pleurospila*  
○下光 利明 (水産機構開発セ)・須之部 友基 (海洋大館山)  
○Toshiaki SHITAMITSU and Tomoki SUNOBE

- 139☆ 千葉県館山湾におけるカミナリベラ TP 雄の繁殖戦術の転換  
Transformation of breeding tactics of TP male, *Stethojulis interrupta terina*, in Tateyama Bay, Chiba, Japan  
○古川 洋之介・須之部 友基 (海洋大館山)  
○Yunosuke FURUKAWA and Tomoki SUNOBE
- 140☆ オヨギベニハゼの配偶システムと双方向性転換  
Mating system and bidirectional sex change of *Trimma taylori*  
○尾山 匠・須之部 友基 (海洋大館山)  
○Takumi OYAMA and Tomoki SUNOBE
- 141 ユウゼンの繁殖生態 (産卵移動と繁殖行動の観察)  
Reproduction of *Chaetodon daedalma* (Observation of spawning migrations and spawning behavior)  
○松村 哲・児玉 雅章・遠藤 周太・幅 祥太・河原 直明 (葛西臨海水族園)・荒井 寛 (多摩動物公園)  
○Satoru MATSUMURA, Masaaki KODAMA, Shuta ENDO, Shota HABA, Naoaki KAWAHARA and Hiroshi ARAI
- 142☆ 野生集団のメダカの雌も見知った雄を配偶相手に好むのか?  
Effect of visual familiarization on the female mating preference in Japanese Medaka species complex  
○尾崎 雄一郎・岩崎 渉 (東大院理)  
○Yuichiro OZAKI and Wataru IWASAKI
- 143 アオビクニン *Careproctus pellucidus* の繁殖生態  
Reproductive biology of deep-sea Snailfish *Careproctus pellucidus*  
○森 俊彰・山内 信弥 (ふくしま海洋科学館)  
○Toshiaki MORI and Shinya YAMAUCHI
- 144☆ ニセクロスジギンポの繁殖生態-沖縄県からの初報告-  
Reproductive ecology of the false cleanerfish *Aspidontus taeniatus* (Blenniidae)  
○佐藤 初 (広島大生物生産)・坂井 陽一 (広島大院統合生命)・桑村 哲生 (中京大国際教養)  
○Hajime SATO, Yoichi SAKAI and Tetsuo KUWAMURA

- 145☆ 館山湾におけるイソギンポ科ナベカの繁殖生態  
 Reproductive ecology of *Omobranchus elegans* in Tateyama Bay  
 ○須合 綾子・須之部 友基 (海洋大館山)  
 ○Ayako SUGO and Tomoki SUNOBE
- 146☆ 東京湾奥部に再生された干潟と人工海浜におけるビリンゴの形態発育と食性  
 Morphological development and feeding habits of *Gymnogobius breunigii* at the developed tidal flat and artificial sandy beach at the Furuhama Park, Ota City, Tokyo  
 ○新城 遥己・丸山 啓太・河野 博 (海洋大院)  
 ○Haruki SHINJO, Keita MARUYAMA and Hiroshi KOHNO
- 147☆ 東京湾奥部に再生された干潟と人工海浜におけるエドハゼの形態発育と食性  
 Morphological development and feeding habits of *Gymnogobius macrogathos* at the developed tidal flat and artificial sandy beach at the Furuhama Park, Ota City, Tokyo  
 ○岩原 聡真・丸山 啓太・河野 博 (海洋大院)  
 ○Souma IWAHARA, Keita MARUYAMA and Hiroshi KOHNO
- 148☆ クツワハゼ *Istigobius campbelli* の繁殖戦術にかかる birthdate effect の検討  
 Examination of birthdate effect on the mating tactics of *Istigobius campbelli*  
 ○佐藤 陽・須之部 友基 (海洋大館山)  
 ○Hinata SATO and Tomoki SUNOBE
- 149☆ 条件的共生を行うツマグロスジハゼとテッポウエビの利害関係  
 An interspecific relationship of facultative symbiosis between *Acentrogobius* sp. and *Alpheus brevicristatus*  
 ○桐原 聡太 (高知大院黒潮圏)・邊見 由美 (京大フィールド研)・伊谷 行 (高知大院黒潮圏)  
 ○Sota KIRIHARA, Yumi HENMI and Gyo ITANI
- 150 アベハゼによる甲殻類の巣穴の一時的な利用  
 Quantifying occasional utilization of crustacean burrow by the estuarine goby *Mugilogobius abei*  
 ○邊見 由美 (京大フィールド研)・岡田 祐也 (高知大院教育)・伊谷 行 (高知大院黒潮圏)  
 ○Yumi HENMI, Yuya OKADA and Gyo ITANI

- 151☆ 千葉県館山湾におけるウバウオ科ホソウバウオ, ウバウオの生活史  
 Life history of *Pherallodus indicus* and *Aspasma ubauo* in Tateyama Bay  
 ○森丘 聡・須之部 友基 (海洋大館山)  
 ○Satoshi MORIOKA and Tomoki SUNOBE
- 152 大阪湾におけるタチウオの生態学的研究  
 Ecological study of *Trichiurus japonicus*, in Osaka Bay  
 ○木村 祐貴・山中 智之 (大阪環農水研)  
 ○Yuki KIMURA and Tomoyuki YAMANAKA
- 153 岩手県南部沿岸におけるマコガレイ仔稚魚の出現動態  
 Occurrence and dynamics of larval and juvenile marbled sole in coastal waters of southern Iwate  
 ○片寄 剛 (東北水研)・鈴木 陽太・百瀬 輝・吉見 紳吾 (北里大海洋)・後藤 友明 (岩手大農)・朝日田 卓 (北里大海洋)  
 ○Go KATAYOSE, Yota SUZUKI, Hikaru MOMOSE, Shingo YOSHIMI, Tomoaki GOTO and Takashi ASAHIDA
- 154 岩手県越喜来湾の砂浜海岸浅所におけるマコガレイ稚魚の食性と成長  
 Food habits and growth of juvenile marbled sole in shallow water of Okirai Bay, Iwate  
 片寄 剛 (東北水研)・鈴木 陽太・百瀬 輝・林崎 健一・○朝日田 卓 (北里大海洋)  
 Go KATAYOSE, Yota SUZUKI, Hikaru MOMOSE, Ken-ichi HAYASHIZAKI and  
 ○Takashi ASAHIDA
- 155 東南アジア産淡水フグ *Pao* 属 3 種の飼育下における繁殖および成長  
 Reproduction and growth of Southeast Asian freshwater pufferfish three species of *Pao* in captivity  
 土井 啓行・○宮川 訓・百田 和幸・小畑 洋 (NIFREL)・酒井 治己 (水産機構水大校)  
 Hiroyuki DOI, ○Satoru MIYAGAWA, Kazuyuki MOMOTA, Hiroshi OBATA and Harumi SAKAI
- 156 インド産汽水・淡水フグ *Leiodon cutcutia* の人工繁殖, 成長  
 Artificial breeding and growth of Ocellated pufferfish *Leiodon cutcutia*  
 ○百田 和幸・土井 啓行・宮川 訓 (NIFREL)・酒井 治己 (水産機構水大校)  
 ○Kazuyuki MOMOTA, Hiroyuki DOI, Satoru MIYAGAWA and Harumi SAKAI

- 157 島根県中海におけるカワウの食性  
Food habits of the piscivorous bird *Phalacrocorax carbo* in Lake Nakaumi  
○堀之内 正博 (島根大)  
○Masahiro HORINOUCI
- 158 環境 DNA を用いた全国 31 河川河口域における魚類群集構造の解明  
Fish community structure in Japanese 31 estuaries using environmental DNA  
○久米 学 (京大フィールド研)・安 孝珍・寺島 佑樹・Edouard LAVERGNE・  
Feng YE (京大森里海)・亀山 哲 (国環研)・邊見 由美・甲斐 嘉晃・伊勢 武史  
(京大フィールド研)・笠井 亮秀 (北大水産)・山下 洋 (京大フィールド研)  
○Manabu KUME, Hyojin AHN, Yuki TERASHIMA, Edouard LAVERGNE, Feng  
YE, Satoshi KAMEYAMA, Yumi HENMI, Yoshiaki KAI, Takeshi ISE, Akihide  
KASAI and Yoh YAMASHITA
- 159 農業用排水路におけるスナヤツメ個体群の分布と生活史  
Distribution and life history of *Lethenteron reissneri* populations in a farm  
drain  
○河合 信哉 (岐阜大院)  
○Shinya KAWAI
- 160 北海道西別川で見つかった外来カワマスと在来イワナ属魚類 2 種における 3 種間  
交雑  
Evidence for interspecific hybridization between native Dolly Varden *Salvelinus  
malma* and introduced brook trout *Salvelinus fontinalis* in the Nishibetsu  
stream of Hokkaido, Japan  
○福井 翔 (北水研)・春日井 潔 (道総研さけます内水試)・澤田 史香 (北大環境)・  
小泉 逸郎 (北大地球環境)  
○Sho FUKUI, Kiyoshi KASUGAI, Ayaka SAWADA and Itsuro KOIZUMI
- 161 有明海沿岸地域のクリーク網の魚類相：現在と過去を比較する  
Present and past freshwater fish fauna in irrigation creeks around Sea of Ariake  
○鬼倉 徳雄・一安 美希・梅村 啓太郎・若林 瑞希 (九大院農)・中島 淳 (福岡県  
保環研)・林 博徳 (九大院工)・並木 崇 (WWF ジャパン)  
○Norio ONIKURA, Miki ICHIYASU, Keitaro UMEMURA, Mizuki  
WAKABAYASHI, Jun NAKAJIMA, Hironori HAYASHI and Takashi NAMIKI

- 162☆ タナゴ類の二枚貝における産卵状況確認手法の開発  
A new detection method of bitterling eggs/juveniles deposited in freshwater mussels  
○梅村 啓太郎・栗田 喜久・鬼倉 徳雄（九大院農）  
○Keitaro UMEMURA, Yoshihisa KURITA and Norio ONIKURA
- 163☆ 産卵床であるイシガイ類の減少によるタナゴ類の在来種と国内外来種との交雑  
Decline of the endangered unionid mussels causes hybridization between a native and an introduced congeneric species of bitterling by competing for breeding substrata  
○植村 洋亮（愛媛大理）・畑 啓生（愛媛大院理工）  
○Yohsuke UEMURA and Hiroki HATA
- 164 広島県芦田川水系のスイゲンゼニタナゴ生息地における二枚貝類の分布  
Distribution of freshwater mussel species in a habitat of an endangered bitterling species in the Ashida River system, Hiroshima Prefecture, western Japan  
○中田 和義・三好 佑季・竹内 和也（岡山大院環境生命）・小出水 規行（農研機構）・中村 匡聡（いであ株式会社）  
○Kazuyoshi NAKATA, Yuki MIYOSHI, Kazuya TAKEUCHI, Noriyuki KOIZUMI and Masatoshi NAKAMURA
- 165☆ スイゲンゼニタナゴの繁殖盛期  
Reproductive season of an endangered bitterling fish species  
○三好 佑季（岡山大院環境生命）・青江 洋（NPO 倉敷水辺環境）・中田 和義（岡山大院環境生命）  
○Yuki MIYOSHI, Hiroshi AOE and Kazuyoshi NAKATA
- 166 琵琶湖南湖におけるホンモロコの産卵の回復  
Recovery of spawning of Honmoroko *Gnathopogon caerulescens*, in the southern basin of Lake Biwa, Japan  
○米田 一紀・太田 滋規・亀甲 武志（滋賀水試）・井出 充彦（滋賀県水産課）  
○Kazuki YONEDA, Shigeki OTA, Takeshi KIKKO and Atsuhiko IDE



- 167 岐阜県におけるウグイの外來 mtDNA の分布  
Distribution of non-indigenous mtDNA haplotypes of Japanese dace *Tribolodon hakonensis* in Gifu Prefecture, central Japan  
○向井 貴彦・井原 彩笑（岐阜大地域）・石崎 大介（三重大院生物資源）  
○Takahiko MUKAI, Sae IHARA and Daisuke ISHIZAKI
- 168☆ 近縁種との繁殖場所分割によるビワコガタスジシマドジョウの保全  
Conservation of *Cobitis minamorii oumiensis* by segregation of breeding habitat from the related species  
○森井 清仁・北野 大輔・久岡 知輝（滋賀県大院環境）・高倉 耕一（滋賀県大環境）  
○Kiyohito MORII, Daisuque KITANO, Tomoki HISAOKA and Koh-Ichi TAKAKURA
- 169 多摩川水系平井川におけるヒガシシマドジョウの微生息環境と食性について  
Microhabitat use and diet of the spined loach in the Hirai River, a tributary of the Tama River  
米山 晃弘・○吉川 朋子（玉川大農）  
Akihiro YONEYAMA and ○Tomoko YOSHIKAWA
- 170 大阪府におけるドジョウの遺伝的系統の分布 ～市民参加で進める外來生物調査～  
Distribution of genetic groups of pond loach *Misgurnus anguillicaudatus* in Osaka Prefecture, Japan  
○松井 彰子（大阪自然史博）・中島 淳（福岡県保環研）  
○Shoko MATSUI and Jun NAKAJIMA
- 171☆ 兵庫県北部鎌谷川上流域におけるナガレホトケドジョウの秋季から冬季にかけての生息場所利用  
Autumn-winter habitat utilization of fluvial eight-barbel loach at a headwater tributary of the Kamatani River, Northern Hyogo  
○中 晶平・佐川 志朗（兵庫大院地マネ）  
○Shohei NAKA and Shiro SAGAWA
- 172 小田原市のメダカ・ビオトープにおける現状と課題－II  
Present status and problems in the Medaka biotope in Odawara City-2  
○嶋津 雄一郎・勝呂 尚之（神奈川水技セ内水試）  
○Yuichirou SHIMAZU and Naoyuki SUGURO

- 173 兵庫県竹野川における農業用井堰が回遊性淡水カジカ 2 種の遡上・分布に与える影響  
Effects of intake weirs on upstream and distribution of two diadromous freshwater sculpins in Takeno River, Hyogo Prefecture  
○田原 大輔・中野 光 (福井県大海洋生物)  
○Daisuke TAHARA and Hikaru NAKANO
- 174☆ 兵庫県北部水田域への魚道敷設による魚類および甲殻類の遡上特性  
Upstream migration of fish and crustaceans to lentic paddy water systems-after construction of fishways in the north area of Hyogo Prefecture  
○三宅 凜太郎・佐川 志朗 (兵庫大院地域)  
○Rintaro MIYAKE and Shiro SAGAWA
- 175 ネットオークションによる絶滅危惧魚類の取引現況および取引特性の類型化  
Feature of the market state and classification in threatened fishes on the internet auction  
○高久 宏佑・諸澤 崇裕 (自然研)  
○Kosuke TAKAKU and Takahiro MOROSAWA
- 176☆ 淡水魚類の積極的保全に向けたアプローチ ～魚と子どものネットワークの10年間の活動を通して～  
Toward active conservation strategies of freshwater fish: through ten years of activities of network of fish and children  
○谷口 倫太郎 (岡山理大生地)・峯 和也・新玉 拓也 (魚と子どものNW)  
○Rintaro TANIGUCHI, Kazuya MINE and Takuya SHINGYOKU
- 177 海産魚における遺伝的集団構造の強さと沿岸依存性の関係  
Relationship between coastal dependency and the degree of genetic population differentiation in marine fishes  
○木下 直樹 (西日本科技研)・松井 彰子 (大阪自然史博)・Woo-Seok GWAK (Gyeongsang National Univ., Korea)・中山 耕至 (京大院農)  
○Naoki KINOSHITA, Shoko MATSUI, Woo-Seok GWAK and Kouji NAKAYAMA

- 178☆ 宮崎県耳川および静岡県天竜川中下流部から得られたスナヤツメ(*Lethenteron reissneri*)の確認とスナヤツメ類似種群の隠蔽種の可能性  
New records of *Lethenteron reissneri* and cryptic species  
○藤井 千尋 (宮崎大学農)・丸木 秀隆 (宮崎市)・赤川 泉 (東海大海洋)・川嶋 尚正 (静岡内漁連)・岩槻 幸雄 (宮崎大学農)  
○Chihiro FUJII, Hidetaka MARUKI, Izumi AKAGAWA, Naomasa KAWASHIMA and Yukio IWATSUKI
- 179 日本周辺海域におけるオカメエイ属魚類の集団構造  
Population structure of the species of *Okamejei* (Rajiformes; Rajidae) around Japan  
○三澤 遼 (東北水研)・遠藤 広光 (高知大学理工)・甲斐 嘉晃 (京大フィールド研)  
○Ryo MISAWA, Hiromitsu ENDO and Yoshiaki KAI
- 180 薩南海域におけるウナギ目レプトセファルス幼生の出現状況  
Seasonal occurrence pattern of leptocephali in the north Satsunan area, southern Japan  
○神野 智・小針 統・塩崎 一弘・鳴海 敦・伊藤 柊弥 (鹿大水産)・一宮 睦雄・小森田 智大 (熊本大環境共生)・久米 元 (鹿大水産)  
○Satoru JINNO, Toru KOBARI, Kazuhiro SHIOZAKI, Atsushi NARUMI, Shuya ITO, Mutsuo ICHINOMIYA, Tomohiro KOMORITA and Gen KUME
- 181 本州中部地方に生息するシマドジョウ属の形態・遺伝的特徴  
Morphology and genetic feature of the striped loach *Cobitis biwae* complex in Central region of Japan  
○柳生 将之・中村 明日加 (EAC)・北野 聡 (長野環境研)  
○Masayuki YAGYU, Asuka NAKAMURA and Satoshi KITANO
- 182 特定外来生物コクチバスの三重県雲出川への侵入範囲の現状  
Invasion range of smallmouth bass in the Kumozu River, Mie Prefecture  
林 遼介・○淀 太我 (三重大院生資)  
Ryosuke HAYASHI and ○Taiga YODO
- 183 三重県と和歌山県で確認されたユウスイミミズハゼの生息環境について  
The habitats of blind well goby *Luciogobius fonticola* collected from Mie and Wakayama Prefectures, Japan  
○平嶋 健太郎 (和歌山自然博)  
○Kentaro HIRASHIMA

- 184 岡山県高梁川河口域におけるハゼ類の生息状況  
 Status of gobiid fishes in Takahashi River estuary, Okayama  
 ○山野 ひとみ・西山 洋行 (倉敷芸科大)・三ツ井 博晃 (倉敷芸科大院産業)  
 ○Hitomi YAMANO, Hiroyuki NISHIYAMA and Hiroaki MITSUI
- 185☆ 佐渡島の河川におけるハゼ科ウキゴリ属の微小生息環境利用  
 Microhabitat use of three types of goby *Gymnogobius* in rivers of Sado Island  
 ○浅田 稜二・木戸 杏香 (新潟大院自然科学)・飯田 碧 (新潟大佐渡セ臨海)  
 ○Ryoji ASADA, Kyoka KIDO and Midori IIDA
- 186 琵琶湖北湖におけるハゼ科仔魚の出現動態および分布様式  
 Occurrence and distribution of larval of goby, in northern basin, Lake Biwa,  
 Japan  
 ○亀甲 武志・太田 滋規・田中 秀具・久米 弘人・松田 直往・孝橋 賢一・  
 石崎 大介・藤岡 康弘 (滋賀水試)・幡野 真隆 (滋賀水産課)・甲斐 嘉晃 (京大  
 フィールド研)・中山 耕至 (京大院農)  
 ○Takeshi KIKKO, Shigeki OTA, Hidetomo TANAKA, Hiroto KUME, Nao  
 MASTUDA, Kenichi KOHASHI, Daisuke ISHIZAKI, Yasuhiro FUJIOKA,  
 Masataka HATANO, Yoshiaki KAI and Kouji NAKAYAMA
- 187 長野県北部栄村エリアの魚類相  
 Fish fauna around Sakae Village, northern Nagano Prefecture  
 ○北野 聡 (長野環境研)・Miles PETERSON (信大教育)・柳生 将之 (EAC)  
 ○Satoshi KITANO, Miles PETERSON and Masayuki YAGYU
- 188 (発表中止) 淡水域の生物多様性の進化と保全における山の役割の解明  
 Elucidation of the role that mountains play in the evolution and conservation of  
 freshwater biodiversity  
 ○Leanne FAULKS (筑波大山岳科学セ菅平高原実)  
 ○Leanne FAULKS

- 189☆ 東京湾奥部の直立護岸に設置した籠網に蝟集する魚類の出現様式  
How do fishes utilize the baskets placed at the surface and bottom waters along the seawall at the Furuhashi Park, Ota City, Tokyo?  
○小野寺 暁 (海洋大院)・竹山 佳奈 (五洋建設株式会社)・丸山 啓太・河野 博 (海洋大院)  
○Akira ONODERA, Kana TAKEYAMA, Keita MARUYAMA and Hiroshi KOHNO
- 190☆ 張網で確認された東京湾奥部の人工潟湖の魚類相の長期的変遷  
Long-term changes of ichthyofauna collected by a small set-net in Shinhaman Lagoon, located in the inner Tokyo Bay  
○澤井 伶・中野 航平・丸山 啓太・河野 博 (海洋大院)・風呂田 利夫 (東邦大東京湾セ)・野長瀬 雅樹 (行徳野鳥観察舎)  
○Rei SAWAI, Kohei NAKANO, Keita MARUYAMA, Hiroshi KOHNO, Toshio FUJITA and Masaki NONAGASE
- 191☆ 小型地曳網で確認された東京湾奥部に位置する人工潟湖の魚類相の長期的変遷  
Long-term changes of ichthyofauna collected by a small seine-net in Shinhaman lagoon located in the inner Tokyo Bay  
○中野 航平・澤井 伶・丸山 啓太・河野 博 (海洋大院)・風呂田 利夫 (東邦大東京湾セ)・野長瀬 雅樹 (行徳野鳥観察舎)  
○Kohei NAKANO, Rei SAWAI, Keita MARUYAMA, Hiroshi KOHNO, Toshio FUJITA and Masaki NONAGASE
- 192 和歌山県田辺湾砂浜海岸における灯火採集で得られた魚類の出現様式  
Occurrence patterns of fishes collected by light trap in a sandy beach, Tanabe Bay, Wakayama  
○山内 洋紀 (京大フィールド研)  
○Hiroki YAMAUCHI
- 193☆ キャンパス移転時に発見された 1950 年代前半の博多湾の魚類リスト  
Fish list of Hakata Bay in 1950s when found at campus relocation  
○安武 由矢・望岡 典隆 (九大院農)  
○Yoshiya YASUTAKE and Noritaka MOCHIOKA

- 194 甑島列島の魚類相  
 Ichthyofauna of the Koshiki Islands, Kagoshima Prefecture, Japan  
 ○伊藤 大介 (鹿大院農水)・本村 浩之 (鹿大総博)  
 ○Daisuke ITO and Hiroyuki MOTOMURA
- 195 台湾南部の魚類相  
 Fish fauna of southern Taiwan  
 ○小枝 圭太 (黒生研)・Hsuan-Ching HO (NMMBP/National Dong Hwa Univ., Taiwan)  
 ○Keita KOEDA and Hsuan-Ching HO
- 196 釣具・釣船店における魚拓の調査：過去の分布情報としての検討  
 Past biodiversity data mining from gyotaku materials from Japanese leisure fishing shops  
 ○宮崎 佑介 (白梅学園短大)・村瀬 敦宣 (宮大農延岡 F)  
 ○Yusuke MIYAZAKI and Atsunobu MURASE
- 197☆ 東北地方太平洋沖地震により再形成された塩性湿地における仔稚魚の移出入  
 Immigration and emigration of fish larvae and juveniles to the saltmarsh regenerated by Tohoku Region Pacific Coast Earthquake  
 ○尾崎 友輔・木村 俊介・中山 耕至 (京大院農)・田中 克 (舞根森里海研)・  
 畠山 信 (NPO 森は海の恋人)  
 ○Yusuke OZAKI, Shunsuke KIMURA, Kouji NAKAYAMA, Masaru TANAKA and Makoto HATAKEYAMA
- 198 東北地方太平洋沖地震により再形成された塩性湿地における仔稚魚の摂餌状況  
 Feeding condition of fish larvae in the saltmarsh regenerated by the 2011 Tohoku earthquake  
 山田 雄志 (林野庁)・○中山 耕至・尾崎 友輔 (京大院農)・田中 克 (舞根森里海研)・  
 畠山 信 (NPO 森は海の恋人)  
 Yushi YAMADA, ○Kouji NAKAYAMA, Yusuke OZAKI, Masaru TANAKA and Makoto HATAKEYAMA
- 199 サケの繁殖形質にみられる緯度クラインの経年変化  
 Annual change of latitudinal cline of reproductive traits in chum salmon  
 ○長谷川 功・岡本 康孝・森田 健太郎 (北水研)  
 ○Koh HASEGAWA, Yasutaka OKAMOTO and Kentaro MORITA

- 200 2015年の産卵・ふ化期に発生した出水がアユの個体数変動に及ぼした影響  
Influence on population dynamics of ayu by the flood during the spawning and hatching period  
○東 健作（西日本科技研）・堀岡 喜久雄・大木 正行・伊与田 猛・松岡 功  
（四万十川中央漁協）・占部 敦史（高知県内水面セ）・辻 祐人（四万十市）・木下 泉（高知大海セ）  
○Kensaku AZUMA, Kikuo HORIOKA, Masayuki OHKI, Tsuyoshi IYOTA, Isao MATSUOKA, Atsushi URABE, Yuto TSUJI and Izumi KINOSHITA
- 201☆ 駿河湾から採集されたクサウオ科オナガインキウオの個体発育と再生産  
Ontogenetic development and reproduction of *Paraliparis ruficometes* Murasaki, Takami and Fukui 2018 collected from Suruga Bay, Japan  
○村崎 謙太（東海大院生物）・高見 宗広・福井 篤（東海大海洋）  
○Kenta MURASAKI, Munehiro TAKAMI and Atsushi FUKUI
- 202 沖縄島近海で採集された仔稚魚のエタノール固定による収縮  
Shrinkage in ethanol of the larvae and juveniles caught around Okinawa Island  
○石原 大樹・田中 庸介・田和 篤史（水研機構国際水研）  
○Taiki ISHIHARA, Yosuke TANAKA and Atsushi TAWA
- 203☆ 三重県宮川水系におけるアカザの遺伝的特徴  
Genetic characteristics of the Japanese torrent catfish *Liobagrus reinii* in the Miya River system, Mie Prefecture  
○生駒 歩・戸田 竜哉・長崎 哲新・河村 功一（三重大院生資）  
○Ayumu IKOMA, Tatsuya TODA, Tesshin NAGASAKI and Kouichi KAWAMURA
- 204 フナ類における無性型3倍体の起源とゲノム多様性  
Origin and genomic diversity of unisexual triploid *Carassius* fishes  
○三品 達平（理研 BDR）・井口 恵一郎（長大院水環）・武島 弘彦（東海大海洋）・橋口 康之（大阪医大）・西田 睦（琉球大）・渡辺 勝敏（京大院理）  
○Tappei MISHINA, Keiichiro IGUCHI, Hirohiko TAKESHIMA, Yasuyuki HASHIGUCHI, Mutsumi NISHIDA and Katsutoshi WATANABE

- 205 近畿地方周辺におけるアブラハヤ類 2 種の形態分析と mtDNA の系統  
Morphological analysis and mtDNA phylogeny of the genus *Phoxinus* around the Kinki Region, Japan  
○福本 一貴・上田 昇平・平井 規央 (大阪府大院生命)  
○Kazuki FUKUMOTO, Shohei UEDA and Norio HIRAI
- 206☆ 三重県宮川水系におけるアブラハヤとタカハヤの遺伝的関係  
Genetic relationship between *Rhynchocypris lagowskii* and *R. oxycephalus* in the Miya River system, Mie Prefecture  
○戸田 竜哉・長崎 哲新・生駒 歩・河村 功一 (三重大院生資)  
○Tatsuya TODA, Tesshin NAGASAKI, Ayumu IKOMA and Kouichi KAWAMURA
- 207 ハゼ亜目魚類における地球規模的な分布域拡大過程の再構築  
Reconstruction of global range expansion in the gobioid fishes  
○昆 健志 (琉球大研究)・佐土 哲也 (千葉中央博)・Lukas RÜBER (ZMB, Germany)・佐藤 崇 (京大総博)・佐藤 行人 (琉球大戦略)・吉野 哲夫 (美ら島財団)・西田 睦 (琉球大)・宮 正樹 (千葉中央博)  
○Takeshi KON, Tetsuya SADO, Lukas RÜBER, Takashi P. SATOH, Yukuto SATO, Tetsuo YOSHINO, Mutsumi NISHIDA and Masaki MIYA
- 208 ウキゴリ属魚類二種間における雑種の空間分布と遺伝・形態的特徴  
Spatial distribution of genetic and morphological variation in the hybrid of the two species of *Gymnogobius*  
○柿岡 諒 (遺伝研)・久米 学 (京都大フィールド研)・石川 麻乃 (遺伝研)・安齋 賢 (基生研)・細木 拓也・山崎 曜 (遺伝研)・永野 惇 (龍谷大農)・北野 潤 (遺伝研)  
○Ryo KAKIOKA, Manabu KUME, Asano ISHIKAWA, Satoshi ANSAI, Takuya HOSOKI, Yo YAMASAKI, Atsushi NAGANO J. and Jun KITANO
- 209☆ ビワヨシノボリの集団構造, 形態的多様性, および近縁種との遺伝的関係  
The origin, population structure, and morphological diversification of a goby species endemic to Lake Biwa, *Rhinogobius biwaensis*  
○佐藤 健介 (京大院理)・山崎 曜 (遺伝研)・渡辺 勝敏 (京大院理)  
○Kensuke SATO, Yo YAMASAKI and Katsutoshi WATANABE



- 210 屋久島産アユの遺伝的特徴  
Genetic characteristics of the Ayu *Plecoglossus altivelis altivelis* on Yakushima Island  
○柳下 直己 (長大院水環)・久米 元 (鹿大水)  
○Naoki YAGISHITA and Gen KUME
- 211 富士川水系早川御馬谷のアマゴに見られたパーマークの特徴  
Feature of parr-marks on amago salmon in Onmadani, Fuji River system  
○川嶋 尚正 (静岡県内水面漁連)・佐野 英秋 (ザ・トラウトバム)  
○Naomasa KAWASHIMA and Hideaki SANO
- 212 タラ目魚類の網羅的分子系統解析とミトゲノムの構造進化  
Comprehensive phylogeny and mitogenomic structural evolution on gadiform fishes  
○佐藤 崇 (京大総博)  
○Takashi SATOH
- 213 ゲノムワイドー塩基多型情報によるメカジキの遺伝的集団構造解析  
Genetic population analysis of swordfish using Genome-wide SNPs  
○倉島 陽・千葉 悟・井嶋 浩貴・仙波 靖子 (国際水産資源研究所)  
○Akira KURASHIMA, Satoru CHIBA, Hirotaka IJIMA and Yasuko SEMBA
- 214 トラフグ属魚類人工交雑家系を用いた雑種判別手法の検証  
Assessing the statistical methods for identifying hybrids using pedigreed hybrids of *Takifugu*  
房尾 奈生子・吉川 廣幸・○高橋 洋 (水大校)  
Naoko FUSAO, Hiroyuki YOSHIKAWA and ○Hiroshi TAKAHASHI
- 215 Phylogeographic Concordance Factors による系統地理パターンの定量比較  
Quantifying phylogeographic concordance using Phylogeographic Concordance Factors  
○武藤 望生 (東海大生物)・柿岡 諒 (遺伝研)・本村 浩之 (鹿大総博)・  
武藤 文人・武島 弘彦・石川 智士 (東海大海洋)  
○Nozomu MUTO, Ryo KAKIOKA, Hiroyuki MOTOMURA, Fumihito MUTO,  
Hirohiko TAKESHIMA and Satoshi ISHIKAWA

## 中学生・高校生による研究発表会プログラム

9月22日（日）13:15～14:15

会場：ポスター会場（ポスターは21日の受付開始8時以降貼り付け可能，22日も同様に，9時までに指定の場所に貼り付けし，14時20分以後の表彰式後の15時45分までに撤収する）．○は講者を示す．

H01 十日町市に生息するモツゴ属魚類の年齢構成

○水落 麻友・廣瀬 洋介・大島 詩音・金子 栞乃・上村 侑加・松山 凌大（新潟県立十日町高等学校）

○Mayu MIZUOCHI, Yuusuke HIROSE, Shion OHSHIMA, Kanno KANEKO, Yuka KAMIMURA and Ryota MATSUYAMA

H02 淡水産二枚貝ドブガイ（イシガイ科）の簡易垂下養育装置の開発ーコイ科淡水魚類 ニッポンバラタナゴを救え！ー

○瀬戸 靖幸・鍵谷 怜・坂田 有理（学校法人奈良学園 奈良学園中学校・高等学校）

○Yasuyuki SETO, Rei KAGITANI and Yusuke SAKATA

H03 ハリヨの河川に応じた保全活動の必要性について

熊木 慧弥（滋賀県立河瀬高等学校科学部魚班）

Keiya KUMAKI

H04 特定外来生物ブルーギルの駆除と食性調査

○ 林 朋輝・阪上 太洋（大阪府立園芸高等学校）

○ Tomoki HAYASHI and Taiyo SAKAUE

H05 愛媛県重信川におけるシマヨシノボリの食性

荒木 聡太（済美高等学校）

Sota ARAKI

H06 多摩川産ヨシノボリの同定

潮上 太朗（東京都立多摩科学技術高等学校）

Taro SHIOGAMI

H07 尼崎運河産チチブ *Tridentiger obscurus* は武庫川から来たのか？

○ 中西 優希奈・荒木 岳士・原田 侑季（尼崎小田高校）

○ Yukina NAKANISHI, Takeshi ARAKI and Yuki HARADA

H08 天神川における魚種分布と物理的環境要因との関連性

○江崎夏生・石川青空（岐阜県立岐阜農林高等学校）

○Natsuki ESAKI and Sora ISHIKAWA

H09 和歌山県加太漁港で一年間に観察された魚類の季節変化

脇本総志（和歌山県立向陽中学校）

Soushi WAKIMOTO

## H10 瀬戸内海に生息する魚類の寄生虫相の解明

- 板谷 穂香・西尾 彩里・鈴木 大登・浜橋 丈（白陵中学校高等学校）
- Honoka ITATANI, Ayari NISHIO, Taito SUZUKI and Jou HAMABASHI

## 2019年度日本魚類学会公開シンポジウム

会 場：高知大学朝倉キャンパス 共通教育棟1号館137番

日 時：2019年9月20日（金）14:30-18:00

### 日本魚類学会若手の会キックオフシンポジウム ～学会の持続的な発展を目指して～

The kick-off symposium for ISJ Young Researchers Association

—Toward the sustainable development of ISJ

コンパネーター：魚類学会若手の会 世話人：川西亮太（北海道大学）・木村祐貴（大阪環農水研）・邊見由美（京都大学）・日比野友亮（北九州市博）・宮崎佑介（白梅学園短大）

14:30-14:40 趣旨説明

木村 祐貴（大阪府立環境農林水産総合研究所）

#### I. 他学会における若手の会の現状

1. 14:40-15:00 多毛類若手の会の活動事例

富岡 森理（利尻町立博物館・多毛類若手の会）

2. 15:00-15:20 応用生態工学会若手の会 —その視点と未来—

久加 朋子（北海道大学・応用生態工学会若手の会）

3. 15:20-15:35 日本魚類学会若手の会概要

日比野 友亮（北九州市立自然史・歴史博物館・若手の会会長）

（休憩）

#### II. 研究に携わりながら生きていく

4. 15:45-16:05 自然保護NGOの立場で、研究に携わりながら生きていく～環境省版植物

レッドリスト作成から、種の保存法改正へのロビー活動～

藤田 卓（日本自然保護協会）

5. 16:05-16:25 在野で行う研究活動について

伊藤誠人（環境機器株式会社）

6. 16:25-16:45 これからの地方公共団体における生物学者の役割

中島 淳（福岡県保健環境研究所）

7. 16:45-17:05 水族館における研究活動

園山貴之（しものせき水族館）

（休憩）

#### III. パネルディスカッション 若手が活きる学会とは

8. 17:15-18:00 司会進行：川西亮太（北海道大学・若手の会副会長）

## 【シンポジウムの趣旨】

本シンポジウムは令和元年中に設立予定の「日本魚類学会若手の会」のキックオフイベントとして開催するものである。平成30年に創立50周年を迎えた日本魚類学会は今日の魚類学の発展に大きく貢献してきた。学会として、今後より一層魚類学の発展・普及を推し進めていくためには、歴史の中で培われてきた伝統・知見を継承しつつ、日進月歩の技術や理論を積極的に取り入れていくことが重要であり、それを将来担っていく若手人材の確保と育成は中心的課題の1つといえる。

他学会ではこの課題に対処するため、学生・若手研究者間の交流を促進する組織として「若手の会」を設置する学会も少なくなく、分野融合的な研究の誘起に成功している事例も見受けられる。また、若年層の人口減少や大学の人員・研究予算削減が深刻化する中で、活気ある学会を維持するためには、アカデミックポスト以外の職に就いても研究対象に携わりながら活躍できる道を模索していく必要がある。

そこで本シンポジウムでは第一部として他学会の若手の会運営者を招聘して「若手の会の活動内容とその意義」についてご紹介いただく。実際の活動のなかで見えてきた課題や未来像をふまえて、魚類学会若手の会として取り組んでいくべき事項や目指すべき方向について議論する。また、第二部では多様な職種における業務やライフワークの中で研究や活動を続けておられる方々に「研究に携わりながら生きていく」というテーマでお話をいただく。アカデミックポストに就かずとも、業務やライフワークの中で魚類に携わっていくための方策について議論し、魚類学を志す学生会員がキャリアパスを考える上での一助としたい。総合討論として「若手が生きる学会とは」というテーマでパネルディスカッションをおこない、魚類学会の持続可能な発展のために学生・若手研究者が果たすべき役割を参加者ととも考える。ぜひ多くの学生・若手会員に参加いただき、自由闊達な議論の場とするとともに、研究者間のネットワーク形成と今後の研究活動の活性化の契機としたい。

## 2019年度日本魚類学会公開シンポジウム

会場：高知大学・朝倉キャンパス・共通教育棟2号館210番

日時：2019年9月23日（月）9:00-17:00

### 古代湖における魚類の適応進化と種多様性創出

Adaptive evolution of fishes in the ancient lakes with reference to the creation of species diversity

コンビーナー：木下 泉（高知大海洋研）・後藤 晃（北の川魚研）

9:00-9:05 開催挨拶

木下 泉

(座長：木下 泉)

#### I. 基調講演

1. 9:05-9:40 古代湖における魚類の適応放散に関する研究の意義  
-タンガニイカ湖の魚を調べてみようかと思った理由- 川那部 浩哉 (元・琵琶湖博)

#### II. アフリカの古代湖におけるシクリッド類の適応放散と進化 (座長：後藤 晃)

2. 9:40-10:05 タンガニイカ・シクリッド類の分子レベルでの分子系統関係と腸管の巻き方  
山岡 耕作 (元・高知大)
3. 10:05-10:30 BBTM (バイカル, 琵琶, タンガニイカ, マラウイ) 湖の湖沼特性と魚類 遊磨 正秀 (龍谷大)
4. 10:30-11:00 ゲノム比較から迫るビクトリア湖産シクリッドの適応放散のメカニズム 二階堂 雅人 (東工大)
- 11:00-11:15 質疑

#### III. バイカル湖におけるカジカ類の適応放散と種多様性創出 (座長：遊磨 正秀)

5. 11:15-11:40 カジカ類の起源と適応放散・種多様性 後藤 晃
6. 11:40-12:05 *Comephorus*属と *Cottocomephorus*属における沖合環境への幼期適応 木下 泉
7. 12:05-12:30 古代湖の固有魚類における受精様式・婚姻形態と精子の進化：  
特にバイカルカジカ類に注目して 安房田 智司・伊藤 岳 (大阪市大理)
- 12:30-12:45 質疑
- 12:45-13:45 昼食休憩

#### IV. 琵琶湖におけるいくつかの魚類の沖合環境への適応と種分化 (座長：東 幹夫 (元・長崎大))

8. 13:45-14:05 分子遺伝解析に基づく固有種を中心とした琵琶湖産魚類の起源 田畑 諒一 (琵琶湖博)
9. 14:05-14:30 琵琶湖における魚類の適応進化 渡辺 勝敏 (京大院理)
10. 14:30-14:50 在来コイの沖合環境への適応 馬淵 浩司 (国環研)
11. 14:50-15:10 沖合型コイ科魚類ホンモロコの回遊生態 亀甲 武志 (滋賀水試)
12. 15:10-15:30 ウツセミカジカの生活史多型と種内分化 田原 大輔 (福井県大)
- 15:30-15:45 質疑
- 15:45-16:00 コーヒーブレイク

#### V. 総合討論

16:00-17:00 (座長：木下 泉・渡辺 勝敏)

### 【シンポジウムの趣旨】

古代湖とは、古い湖の中で新生代第三紀終りから第四紀始めに形成され、その後、長期に渡って他の水域からほぼ隔離されて来た淡水湖のことをいう。こうした古代湖としては、アフリカの地溝湖群、シベリアのバイカル湖そして本邦の琵琶湖がよく知られている。それぞれ、熱帯域、亜寒帯域そして温帯域に位置するこれらの湖では、各湖特有の魚類分類群が適応放散をとげ、多くの固有種が派生・進化したことが明らかになっている。アフリカのタンガニカ湖、バイカル湖および琵琶湖に関しては、魚類群集に注目した別個のシンポジウムが、かつて魚類学会でも開催されたことがあるが、歴史、環境および生息魚類の異なる複数の古代湖間での固有性を比較し、その全体像を俯瞰することは未だ試みられていない。そこで今回のシンポジウムでは、気候帯、湖の起源、環境（特に水深）および魚類群集がそれぞれ異なる古代湖を比較検討することによって、湖間での魚類の適応放散の相違点ならびに共通点を見出し、これらの魚類の種多様性創出要因とその進化機構についての理解を深めたい。



## 2019年度日本魚類学会公開シンポジウム

会 場：高知大学朝倉キャンパス共通教育棟 1号館 137番

日 時：2019年9月23日（月）9:00-13:00

スウェーデンの Vega 号が採集した 140 年前の日本産標本群の意義  
— 分類学的研究に基づく標本の役割を再考：過去の生物多様性復元、  
今日の環境保全、未来世代への記録と保存

Significance of the Swedish Vega Collection: Japanese specimens from 140 years ago  
— a case study reviewing the past, present and future roles of specimens for taxonomic analysis:  
reconstructing the biodiversity of the past, conserving the environment of today, and preserving  
a record for research by future generations

コンビーナー：滝川 祐子（香川大農）

第1部：Vega 号標本の共同研究の成果報告

1. 9:00-9:15 趣旨説明・Vega 号標本の収集経緯の概要  
滝川 祐子（香川大農）
2. 9:15-9:45 Vega 号が収集した海産魚類標本が示唆する明治初期の日本の沿岸環境  
○瀬能 宏（神奈川県博）・吉野 哲夫（美ら島財団）
3. 9:45-10:15 Vega 号が収集した日本産淡水魚の概要  
○藤田 朝彦（株建設環境研究所）・川瀬 成吾（大阪経済法科大）  
・細谷 和海（近畿大名誉教授）
4. 10:15-10:45 琵琶湖産淡水魚の分類研究における Vega 号標本の位置づけ  
○川瀬 成吾（大阪経済法科大）・藤田 朝彦（株建設環境研究所）  
・細谷 和海（近畿大名誉教授）  
(休憩)
5. 11:00-11:30 琵琶湖の無脊椎動物相の変遷からみた Vega 号標本の位置づけ  
西野 麻知子（元びわこ成蹊スポーツ大）
6. 11:30-12:00 貝類標本が示す Vega 号の日本での足跡および混在資料の重要性  
中井 克樹（琵琶湖博物館）
7. 12:00-12:15 Vega 号標本に含まれる魚類以外の脊椎動物、地衣類、その他の生物  
滝川 祐子（香川大農）

第2部：Vega 号標本を事例とした総合討論

8. 12:15-13:00 総合討論・質疑応答等  
○滝川 祐子（香川大農）・瀬能 宏（神奈川県博）・吉野 哲夫（美ら島財団）  
・藤田 朝彦（株建設環境研究所）・川瀬 成吾（大阪経済法科大）  
・細谷 和海（近畿大名誉教授）・西野 麻知子（元びわこ成蹊スポーツ大）  
・中井 克樹（琵琶湖博物館）

- 議論のテーマとして
- ①分類学に基づく生物種の変遷
  - ②各標本群と採集地から推察される 140 年前の環境や生態情報の復元
  - ③外来種の侵入に関する知見
  - ④探検航海資料の生態学・保全生態学への応用
  - ⑤博物館の役割, 長期的に標本資料を保管する意義・重要性などを想定.

### 【シンポジウムの趣旨】

2019 年は Vega 号来日 140 周年にあたる。ノルデンシヨルドが率いるスウェーデンの Vega 号は、1878 年に北欧を出発し、北極海で世界初の北東航路の航海に成功した。この歴史的快挙の直後、1879 年に Vega 号は来日し、約 2 か月の滞在中、寄港地とその周辺で生物資料を収集した。本シンポジウムの目的は、1) Vega 号標本の共同研究の成果を報告する；2) 研究成果を 1 つの事例として、今後の調査や将来の研究のために標本資料の意義などを再考する、の 2 点にある。

第 1 部では、研究課題「スウェーデンの Vega 号資料に基づく明治初期の日本研究と琵琶湖環境の復元」(2015～2017 年度、科学研究費補助金基盤研究 B) の研究成果を報告する。この研究のため、発表者らは 2015～2017 年にスウェーデン国立自然史博物館を訪問し、Vega 号が持ち帰った日本産標本資料の調査を行った。具体的には各動物群の研究者が同博物館を訪問し、標本に基づく種同定を行った。また一部の標本については、写真による種同定を研究者に依頼した。標本採集地を特定するため、ラベルに記載されたデータを Vega 号の標本採集記録、出版された航海記、国内に残る新聞記事等と照合した。また各分類群、採集地ごとに、これまでの採集記録や研究報告と比較・解析した。Vega 号が収集した日本産標本は、主に①琵琶湖で収集した淡水魚類・水生無脊椎動物標本、②横浜、神戸、長崎周辺で収集した海水魚類標本と非海産貝類を中心とした無脊椎動物標本、であった。明治初期の横浜、神戸、琵琶湖、長崎を中心とした、まとまった魚類・無脊椎動物標本群は、国内外を問わず、貴重な標本資料である。調査の結果、Vega 号標本は、近代化により日本の沿岸域や琵琶湖が様々な人為的改変を受け、大きく変貌する前の 1879 年時点の生態系情報を復元しうる重要な学術資料であることが判明した。

第 2 部では、研究成果を 1 つの事例とし、標本の意義を再確認し、普通種を含む標本の長期的収集・保管、活用の重要性など、今後の調査研究に資するよう、話し合う場を提供する。現地調査を行った研究者を交え、関心のあるシンポジウム参加者らと情報・意見交換する場としたい。

## 2019 年度日本魚類学会公開シンポジウム

会 場：高知大学朝倉キャンパス共通教育棟 1 号館 137 番

日 時：2019 年 9 月 23 日（月）14:00–18:00

### 野生メダカを守る ～基礎研究から保全の提言まで～ Conservation of wild medaka – Basic and applicable studies –

コンビナー：北川 忠生（近畿大学農学部）、小林 牧人（国際基督教大学）

14:00–14:10 趣旨説明

北川忠生（近畿大学農学部）

第 1 部 野生メダカの基礎研究（座長：棟方 有宗）

1. 14:10–14:40 野生メダカの繁殖生態と保全

–メダカはどこで卵を産むか？–

小林 牧人（国際基督教大学）

2. 14:40–15:10 自然環境下での交雑実態からみた日本産メダカ 2 種の関係

–ミナミメダカとキタノメダカは恋に落ちる？–

入口 友香（一般財団法人 自然環境研究センター）

3. 15:10–15:40 野生メダカ集団に生じている遺伝的攪乱の実態

–放流メダカは外来魚–

北川 忠生（近畿大学農学部）

第 2 部 野生メダカを守る（座長：北川 忠生）

4. 15:50–16:20 東日本震災後の仙台の野生メダカの保全の取り組み

棟方 有宗（宮城教育大学教育学部）

5. 16:20–16:50 東京のメダカは今

– 調べる・伝える・守るささやかな取組み –

多田 諭（公益財団法人東京動物園協会 葛西臨海水族園）

6. 16:50–17:20 野生メダカ保護への提言

細谷 和海（近畿大学名誉教授）

総合討論と閉会の挨拶

17:20–18:00 小林 牧人（国際基督教大学）

## 【シンポジウムの趣旨】

小川の中を可憐に泳ぐ様子が愛でられ、多くの童謡に歌われるなど、メダカ(メダカ種群: *Oryzias latipes species complex*) は多くの日本人にとって最もなじみの深い魚の一つとして知られている。しかし近年、多くの野生の生息域で個体数が減少し、地域個体群が絶滅するなど、危機的な状況に陥っている。

野生のメダカの個体群を保全・再生するためには、それらが本来持っている基礎的な生態や遺伝的特性(地域個体群の固有性)を把握することが不可欠である。メダカは実験モデル生物として様々な研究が行われているが、保全に必要となるこれらの基礎的な知見は十分とはいえない。また、野生メダカが減ってしまう要因や、減ってしまった野生メダカを復元するための手法についても、十分な検討が行われていない。さらに、こうして研究者が野生メダカの基礎生態や保全の必要性、方法論を案出しても、多くの地域では具体的な保全活動が進みにくかったり、活動があっても正しい方法がとられていなかったりという課題もある。これは、我々がメダカとともに歩んできた文化の背景や、未来にメダカを残すことの本当の意義が十分に認識されていないこと、すなわち保全のためのモチベーションとゴールが共有できていないためではないだろうか。

特に、近年では、同じ日本のメダカから作りだされたヒメダカなどの改良品種がペットや研究、教育の素材として広く普及している。これらは、我々が連綿と育んできたメダカ文化の延長線として今後の発展が期待され、歓迎しうる存在である。ただし、こうした品種改良メダカは放流による遺伝的攪乱や本来のメダカという生き物の曲解につながるといった、野生メダカとの軋轢も生じ得る。野生メダカと改良品種の共存の道筋をつけることも、現代の我々に課された研究課題のひとつである。

こうした背景を踏まえ、本シンポジウムではメダカの基礎生態や遺伝的特性の把握と、それらに基づいた保全・再生の方法論、保全の啓発の方法について議論することを目的とする。